

消防年報

(10周年記念誌)

令和5年版

南但消防本部



氷ノ山と別宮の棚田（養父市）
写真提供：養父市



天空の城 竹田城跡(朝来市)
写真提供：朝来市

ごあいさつ



発足 10 周年を祝して

南但広域行政事務組合

管理者 広瀬 栄

養父市と朝来市の消防広域化により、南但消防本部が発足し本年で 10 年という大きな節目の年を迎えました。

これもひとえに、消防行政の発展のためにご尽力を賜りました、地域住民の皆様をはじめ関係各位に衷心より感謝を申し上げます。

さて、南但消防本部は平成 25 年 4 月に養父市・朝来市による組合消防組織として発足しました。小規模ながらも消防職員の強い使命感や努力の積み重ねによって消防体制の基礎を築き、組織体制、施設整備等を含む消防力の強化に努めるとともに、その使命を完遂してまいりました。

一方、近年では、今まででは想定できなかった巨大化した自然災害が各地で頻発しており、地域社会の変化に伴い災害形態は、複雑・多様化の傾向にあります。加えて、新型コロナウイルス感染症への対策は危機管理上重大な課題であるとの認識の下、住民の生命・身体そして財産を守るため、関係機関との連携を密にして、この難局を乗り越えていかなければなりません。

私ども消防行政に携わるものとしましては、このような現状を十分認識し、安全で安心できるまちづくりを構築すべく、防災力のさらなる充実・強化に尽力してまいります。結びに、今後とも、消防行政の一層の発展のため、関係各位の格別なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

発足 10 周年を迎えて

南但消防本部

消防長 掃部 康久



南但消防本部が平成 25 年 4 月に発足して以来、10 周年という記念すべき節目の年を迎えました。この 10 年の間、住民の生命と財産を守るため、施設と装備の充実とともに、火災・救急・救助等の警防体制及び火災・防災の予防体制の強化を図り、消防行政の推進に努めてまいりました。

近年、消防を取りまく環境は、救急需要の大幅な増加や全国各地で発生する自然災害など、社会情勢の変化や異常気象に伴い、複雑多様化しており、消防への期待をこれまで以上に強く感じているところです。

私どもも、この 10 年を礎に、新たな決意をもって、住民の安全・安心の確保に全力で取り組んでまいります。結びに、関係各位の多大なるご尽力に対しまして、感謝を申し上げますとともに、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
第1編 10年のあゆみ	
南但消防本部の変遷	4
沿革	5
統計資料編	20
第2編 年報	
消防本部・消防署所の概要	29
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	30
消防車両一覧	31
令和4年度中の主要行事	32
おもな出来事	34
一目統計	36
【概要編】	
管理	38
予防	39
災害活動の概要	
火災	40
救急	42
救助	44
通信	46
【統計資料編】	
管理編	
令和4年度予算状況	49
令和4年度職員給与費等の実態	49
階級別勤続年数	50
年齢別職員構成	50
研修派遣状況	51
階級別資格取得状況	52
消防相互応援協定等の締結状況	53
予防編	
防火対象物の概要（地域別・中高層建物）	55
防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）	56
確認申請処理状況	57
消防教室実施状況	57
危険物施設数及び立入検査回数	58
危険物施設設置許可及び変更許可の状況	58
市別・数量別危険物施設数	59
市別・類別危険物施設数	59
各種届出等受理状況	60

警防編

火災

年次別火災発生状況	6 2
月別火災発生状況	6 4
曜日別火災発生状況	6 4
時間別火災発生状況	6 5
使用した消防水利	6 5
覚知から現場到着までの所要時間	6 6
放水開始から鎮火までの所要時間	6 6
出火原因	6 7
用途別火災発生状況	6 8

救急

年次別救急発生状況	6 9
月別救急発生状況	7 0
曜日別救急発生状況	7 1
時間別救急発生状況	7 2
覚知から現場到着までの所要時間状況	7 3
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	7 3
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	7 4
救急隊の行った主な応急処置状況	7 4
事故種別・収容医療機関状況	7 5
地域別・収容医療機関状況	7 5
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	7 6
普通救命講習実施状況	7 6

救助

年次別救助発生状況	7 7
月別救助発生状況	7 8
曜日別救助発生状況	7 9
時間別救助発生状況	8 0
事故種別・傷病程度別状況	8 1

通信

年次別 119 番受信状況	8 2
---------------	-----

装備

消防用機器の配置状況	8 3
------------	-----

各種団体

消防団組織図	8 5
協力団体組織図	8 6

南但消防本部の概要

1 位置と地勢

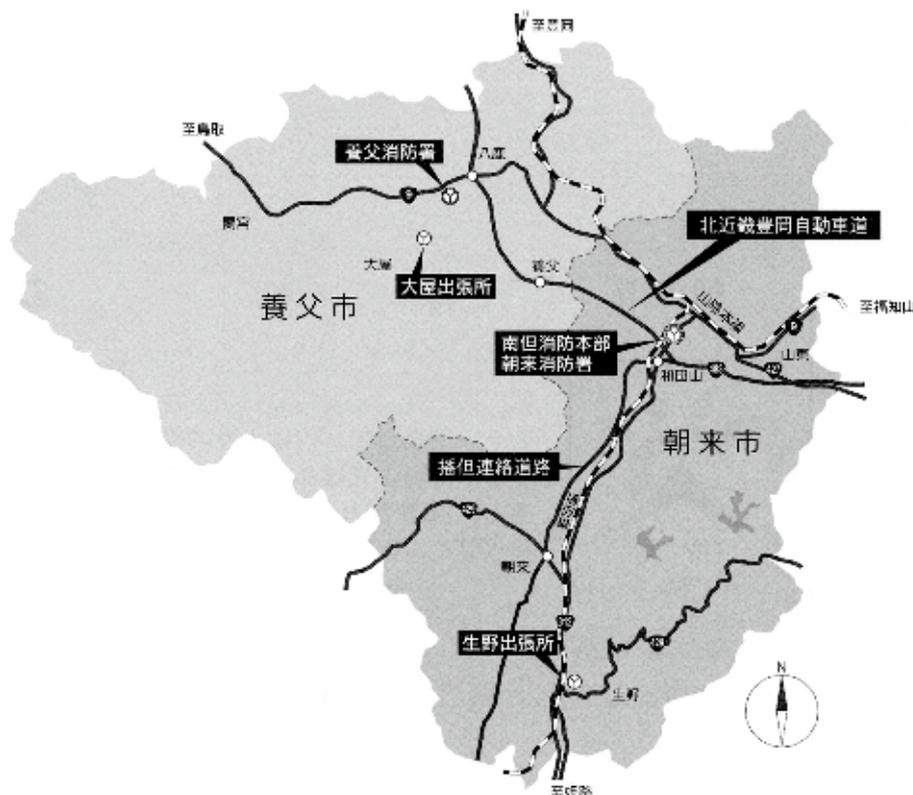
南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号及び427号が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号が南北に通っています。また、国道312号に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道9号に沿ってJR山陰本線が通っています。平成29年3月に北近畿豊岡自動車道の八鹿氷ノ山IC～日高神鍋高原IC間が開通するなど、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、さらに、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。

平成29年4月28日、文化庁により地域の歴史遺産や文化財の魅力を伝えるストーリーを認定する「日本遺産」に、養父市・朝来市を含む6市町共同で申請した『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道』が正式に認定されました。



2 管轄人口と世帯数

市町名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)
養父市	21,756	9,185	422.91
朝来市	28,516	12,292	403.06
合計	50,272	21,477	825.97

令和5年3月31日現在 住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市 「豊かで持続可能なスマートヴィレッジの共創」



【市章】

三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】 ミズバショウ

【市木】 ブナ

【主な産業・経済】

大根、ほうれん草、朝倉山椒、但馬牛、八鹿豚

【観光・文化・歴史】

氷ノ山（兵庫県最高峰）、天滝（日本の滝100選）
明延鉱山、ハチ高原、名草神社三重塔、養父神社
ビバホールチェロコンクール
木彫フォークアート、葛畑農村歌舞伎



【養父市イメージキャラクター】

やっぷー

朝来市

「人と人がつながり幸せが循環するまち～対話で拓く朝来市の未来～」



【市章】

朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】 さくら

【市木】 けやき

【主な産業・経済】

金属製品製造業、金属バネ工業、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡（日本100名城）、茶すり山古墳（近畿最大円墳）
生野銀山及び鉱山町の文化的景観、白井大町藤公園
神子畑鑄鉄橋（日本最古の全鑄鉄橋）



【朝来市マスコットキャラクター】

ちゃすりん

第1編

10年のあゆみ

南但消防本部の変遷

歴代管理者

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
多次 勝昭	H25・4・1	H25・10・31	朝来市長
広瀬 栄	H25・11・1	H29・5・31	養父市長
多次 勝昭	H29・6・1	R 2・5・31	朝来市長
広瀬 栄	R 2・6・1		養父市長 R 5・3・31 現在

歴代消防長

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
小川 宏昭	H25・4・1	H26・3・31	
楠 晃	H26・4・1	H27・3・31	
中島 正昭	H27・4・1	H28・3・31	
笹谷 信之	H28・4・1	H30・2・21	
太田 正明	H30・2・22	R 2・3・31	
坂本 龍二	R 2・4・1	R 4・3・31	
掃部 康久	R 4・4・1		現在

沿 革

平成 25 年～26 年

平成 25 年 4 月	南但消防本部発足（記念式典及び消防本部旗授与式举行） 消防吏員 4 名を採用（条例定数 98 名） 県下広域を含めて各消防応援協定を締結
平成 25 年 5 月	消防救急デジタル無線実施設計着手
平成 25 年 7 月	消防本部の広報紙「NANTAN 119 だより」創刊号を発行
平成 25 年 11 月	公用車を更新し養父消防署に配備
平成 25 年 12 月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備 指揮車を更新し大屋出張所に配備
平成 26 年 1 月	南但消防本部として初めての出初式举行
平成 26 年 3 月	大屋出張所耐震化工事着手
平成 26 年 4 月	消防吏員 7 名を採用（条例定数 98 名）
平成 26 年 5 月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
平成 26 年 6 月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
平成 26 年 8 月	大屋出張所耐震化工事完了
平成 26 年 11 月	コミュニティ消防センター改修工事
平成 26 年 12 月	養父消防署耐震化工事完了



▲南但消防本部 発足式



▲南但危険物安全協会設立総会・記念式典



▲南但消防本部として初めての出初式



▲養父消防署耐震化工事完了



▲大屋出張所耐震化工事完了



▲指揮車を更新し大屋出張所に配備

平成 27 年～28 年

- 平成 27 年 1 月 阪神淡路大震災 20 年メモリアル訓練実施
高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
- 平成 27 年 4 月 消防吏員 7 名（うち 1 名、初の女性消防吏員）を採用
（条例定数 98 名）
- 平成 27 年 12 月 朝来消防署女性消防職員仮眠室完成
- 平成 28 年 4 月 消防救急デジタル無線正式運用開始
消防吏員 5 名を採用（条例定数 98 名）
熊本地震緊急消防援助隊派遣
（4/16～4/22 救急小隊、後方支援隊 延べ 12 名を派遣）
- 平成 28 年 8 月 第 45 回全国消防救助技術大会に南但消防本部として初出場
- 平成 28 年 9 月 朝来消防署アスファルト舗装修繕工事完了
- 平成 28 年 11 月 15m はしご付消防自動車を更新し朝来消防署に配備



▲阪神淡路大震災メモリアル訓練



▲訓練場舗装工事完了(朝来消防署)



▲庁舎増築（女性消防職員仮眠室）



▲全国消防救助技術大会へ初出場



▲はしご付消防自動車を更新



▲熊本地震での搜索活動を実施

平成 29 年～30 年

- 平成 29 年 4 月 消防吏員 2 名（うち 1 名、初の女性救急救命士）を採用
（条例定数 98 名）
- 平成 29 年 9 月 住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市広谷）
- 平成 29 年 11 月 第 26 回全国救急隊員シンポジウム事例発表（千葉市）
- 平成 29 年 12 月 第 6 回全国消防職員剣道大会：女子個人の部第 3 位（東京）
- 平成 30 年 3 月 救助工作車を更新し朝来消防署に配備
（緊急消防援助隊 救助小隊に登録）
- 平成 30 年 4 月 消防吏員 6 名を採用（条例定数 98 名）
- 平成 30 年 7 月 平成 30 年 7 月豪雨 緊急消防援助隊派遣
（7/18～7/20 救助小隊を広島県へ派遣）
養父消防署駐車場アスファルト舗装修繕工事完了
- 平成 30 年 11 月 住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市八鹿町、朝来市山東町）



▲住宅密集地防ぎょ訓練（養父市広谷）



▲県内初のバス型救助工作車を導入



▲住宅密集地防ぎょ訓練（朝来市山東町）



▲平成 30 年 7 月豪雨へ救助小隊を派遣（広島県）



▲第 6 回全国消防職員剣道大会 第 3 位



▲救助小隊として搜索活動を実施（広島県）

令和元年～2年

平成 31 年 1 月	第 27 回全国救急隊員シンポジウム事例発表（高松市）
平成 31 年 3 月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し朝来消防署に配備 消防ポンプ自動車を更新し生野出張所に配備
平成 31 年 4 月	消防吏員 3 名を採用（条例定数 98 名）
令和元年 6 月	G20 大阪サミット特別警戒に救急隊を派遣
令和元年 8 月	第 48 回全国消防救助技術大会（基本泳法の部）に出場
令和元年 11 月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市関宮）
令和元年 12 月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備
令和 2 年 1 月	消防ポンプ自動車を更新し朝来消防署に配備
令和 2 年 4 月	消防吏員 3 名を採用（条例定数 98 名）
令和 2 年 11 月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市大屋町）



▲G20 大阪サミット特別警戒に救急隊派遣



▲朝来消防署の水槽付消防ポンプ自動車
生野出張所のポンプ自動車を更新



▲住宅密集地防ぎょ訓練（養父市大屋町）



▲全国消防救助技術大会
【基本泳法の部】に出場



▲全国救急隊員シンポジウムで事例発表



▲養父消防署の高規格救急車を更新

令和3年～4年

令和3年 4月	消防吏員4名を採用（条例定数98名） 高機能消防指令センターを更新し運用開始
令和3年12月	消防ポンプ自動車を更新し養父消防署に配備 高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
令和4年 3月	指揮車を更新し朝来消防署に配備
令和4年 4月	消防吏員3名を採用（条例定数98名）
令和4年 8月	第50回全国消防救助技術大会に出場
令和4年 9月	火災調査研究会事例発表（神戸市）
令和4年11月	第6回緊急消防援助隊全国合同訓練に救急隊を派遣（静岡県）



▲高機能消防指令センターを更新



▲養父消防署の消防ポンプ自動車を更新



▲朝来消防署の高規格救急車を更新し
モンディアルのストレッチャーを導入



▲第50回全国消防救助技術大会
【陸上の部】 2種目出場



▲緊急消防援助隊全国合同訓練（静岡県）



▲指揮車を更新し朝来消防署に配備

火 災



◀ジャルポ工業株式会社大屋工場火災

平成26年10月15日16時43分頃、養父市大屋町宮垣にある同工場で火災が発生しました。

この火災では、敷地内に位置する13棟の建物のうち8棟を焼損しました。完全に火が消し止められたのは、火災覚知から4日後のことであり、鎮火までに長時間を要する大規模な火災となりました。



◀ゲンゼ株式会社梁瀬工場火災

平成27年3月26日15時20分頃、朝来市山東町楽音寺にある同工場で火災が発生しました。

この火災では、隣接する姫路市消防局並びに豊岡市消防本部にはしご車の応援出動を要請しました。

また、兵庫県消防防災航空隊のヘリコプターにも応援出動を要請しましたが、鎮火まで約7時間を要する大規模な火災となりました。



◀朝来市佐囊林野火災

令和2年5月7日12時頃、朝来市佐囊の山林で火災が発生しました。

この火災では、焼損が広範囲に及んでいたことと現場に進入するための林道もなく、急峻な山中であったため火災の通報を受けた日から鎮火までに8日間を要しました。

また、地上隊だけでなく兵庫県、鳥取県、岡山県の消防防災航空隊及び陸上自衛隊のヘリコプターによる空中消火も行われました。

▼養父市八鹿町高柳建物火災



令和3年5月4日13時頃、八鹿町高柳の民家から火災が発生しました。強風の影響で次々と周囲の民家や倉庫に飛び火したことで、広範囲に延焼し、合計10棟が焼損する大規模な建物火災となりました。

この火災では、養父消防署の消防隊だけでなく朝来消防署からも応援出動しましたが、火災覚知から鎮火まで約3時間を要しました。

また、翌日の5月5日に朝来市生野町で合計5棟が焼損する火災が発生し、連日発生する火災を重く受け止め、1カ月間「火災多発非常事態宣言」を発表し火災予防の呼びかけを行いました。

救 急

▼ドクターヘリ・カーと連携



早期医療介入を目指し、ドクターヘリ・カーと連携した現場活動を行いました。

▼救急強化訓練



救急強化月間を定め、訓練の総仕上げとしてブライント型のシミュレーション訓練を実施しました。

▼八鹿病院集団災害訓練



公立八鹿病院と合同で集団災害医療訓練を実施し、実災害に備え連携強化を図りました。

▼普通救命講習会



救命率向上を目指し、普通救命講習会や救急講習を推進し、普及啓発を図りました。

▼全国救急隊員シンポジウム発表



平成 29 年（千葉県）と平成 31 年（香川県）に行われた全国救急隊員シンポジウムで事例発表を行いました。

▼G20 大阪サミット特別警戒



令和元年、大阪市で開催された G20 大阪サミットの警戒のため救急隊 1 隊を派遣しました。



◀感染対策資機材の整備

令和 2 年 1 月に国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認され、その後、全国に感染が拡大しました。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、現場活動に多大な影響を受ける中、感染防止対策資機材の整備を進め、消防・救急体制の維持・確保に努めました。

救 助



▲凄惨な交通事故現場



▲山間部での山岳救助現場



▲兵庫県防災ヘリと連携した救助活動

被災地へ緊急消防援助隊隊員の派遣

- (平成 28 年 4 月) 熊本地震
- (平成 30 年 6 月) 大阪北部地震(出動準備)
- (平成 30 年 7 月) 平成 30 年 7 月豪雨
- (令和 2 年 7 月) 熊本県南部豪雨(出動準備)
- (令和 2 年 9 月) 台風 10 号(九州)(出動準備)



全国消防救助技術大会出場

南但消防本部発足後、計 5 名の隊員が全国消防救助技術大会出場を果たしました。

- (平成 28 年) ロープブリッジ渡過(隊員 1 名)
- (令和元年) 基本泳法(隊員 1 名)
- (令和 4 年) ロープブリッジ渡過(隊員 1 名)
- ロープ応用登はん(隊員 1 組 2 名)

消 防 訓 練

▶火災防ぎょ訓練

関係機関と合同で密集地火災防ぎょ訓練や、各種火災予防運動に伴った消防団との合同訓練を実施しています。また、兵庫県消防学校で行われている「実火災体験型訓練」にも参加し、火災性状の理解を深めるため、実際の火災に近い状況下での訓練を実施しています。



◀救急訓練

救急隊員の連携強化及び質の向上を目的に、指導的立場にある救急救命士の指導の下、若手職員を対象とした本番さながらの訓練を毎年実施しています。適切な観察・判断・処置をすることが求められ、訓練終了後は活動を振り返り、課題を明らかにすることで今後の現場活動に活かすことができます。

▶救助訓練

安全でかつ確実、迅速な救助活動には高度な知識と技術が必要となるため、日々訓練に励んでいます。今後も様々な事象に対応できるよう、救助体制の充実強化に努め、実災害に備えます。



◀緊急消防援助隊合同訓練

大規模災害が発生した場合、被災地の消防機関では対応できないため、各都道府県の消防機関が緊急消防援助隊として応援に駆け付け、相互に活動を行う訓練が実施されています。また、近畿ブロックの訓練に加え全国規模の訓練にも参加しています。

10年間の主な訓練

▼JR 列車事故対応訓練



JR 西日本、朝来警察署、八鹿病院 (DMAT)、和田山医療センターと列車事故を想定した合同訓練を実施しました。
(平成 25 年 11 月 13 日)

▼防災訓練



豊岡市消防本部と合同で震災を想定した訓練を実施しました。

(平成 28 年 8 月 28 日)

▼実火災体験型訓練



兵庫県消防学校に実火災体験型訓練施設が導入され火災性状の理解を主眼に訓練を実施しました。

(令和元年 2 月 25 日)

▼多数傷病者対応訓練



多数傷病者を想定したトリアージ訓練を実施し、関係機関と連携を強化しました。

(平成 26 年 10 月 4 日)

▼航空隊合同訓練



年 2 回の兵庫県消防防災航空隊との合同訓練を実施しました。

(平成 29 年 8 月 25 日)

▼潜水訓練



温水プールを使用し、潜水訓練を実施しました。各隊員は知識、技術の習得に努め訓練に取り組みました。

(令和 2 年 10 月 13 日)

▼震災対応訓練



阪神淡路大震災から 20 年を迎え、北但震災を想定し、他機関合同で訓練を実施しました。

(平成 27 年 8 月 30 日)

▼北近畿道対応訓練



北近畿道開通に伴い他機関合同で訓練を実施しました。

(平成 30 年 10 月 17 日)

▼雪中山岳訓練



冬山での遭難事故を想定した訓練を実施しました。

(令和 3 年 2 月 24 日)

住民とともに歩んだ防火への道

▼事業所防火の推進



大型の商業施設をはじめ、多くの事業所に対して立入検査を実施しました。避難経路や消防用設備等の設置・維持管理状況の確認及び避難訓練などの指導を行っています。

万が一に備えることで、火災による被害が軽減されます。

▼文化財防火運動



大切な文化財を災害から守るため、文化財防火運動を実施しました。

防火立看板の設置などの広報活動を通じて、住民の文化財に対する愛護思想及び防火意識を高め、災害から文化財の損失を防止することを目的としています。

▼防火訪問



高齢者のお宅を訪問し、暖房器具やコンロの状態など火気の使用状況を確認しています。

また、住宅用火災警報器の設置状況の確認及び点検を実施し、防火指導を行っています。

▼防火ポスター審査会



毎年小・中学生から数多くの作品が寄せられます。

いずれの作品も防火がいかに大切であるかを喚起させてくれるもので、子供達の表現力や発想力の豊かさに刺激を受けています。



▼社会見学



社会見学では、多くの小学生が消防署に来てくれています。消防署を見学し、通信指令室や消防車の見学、消防士の仕事について学びます。

火災などの災害の恐ろしさを知り、火災予防への関心を高めるとともに、防火意識の高揚へとつながります。



▼職場体験（トライやるウィーク）



中学生を対象としたトライやるウィークを受け入れています。

子供達が将来消防士を目指すきっかけにもなっており、実際に消防士になられた生徒もいます。



▼一日消防官



女性消防団員に「一日消防官」をお願いしました。こども園を訪問し、園児たちに防火クイズを出題しました。

火災予防について幼い頃から、正しい防火の知識を持つことが将来地域の安全に役立つと考えています。

▼消防ふれあい祭り



消防ふれあい祭りでは、「はしご車の体験乗車」や「住宅用火災警報器の展示」などを行うことで、地域に密着した防火意識の普及啓発に取り組んでいます。

統計資料編

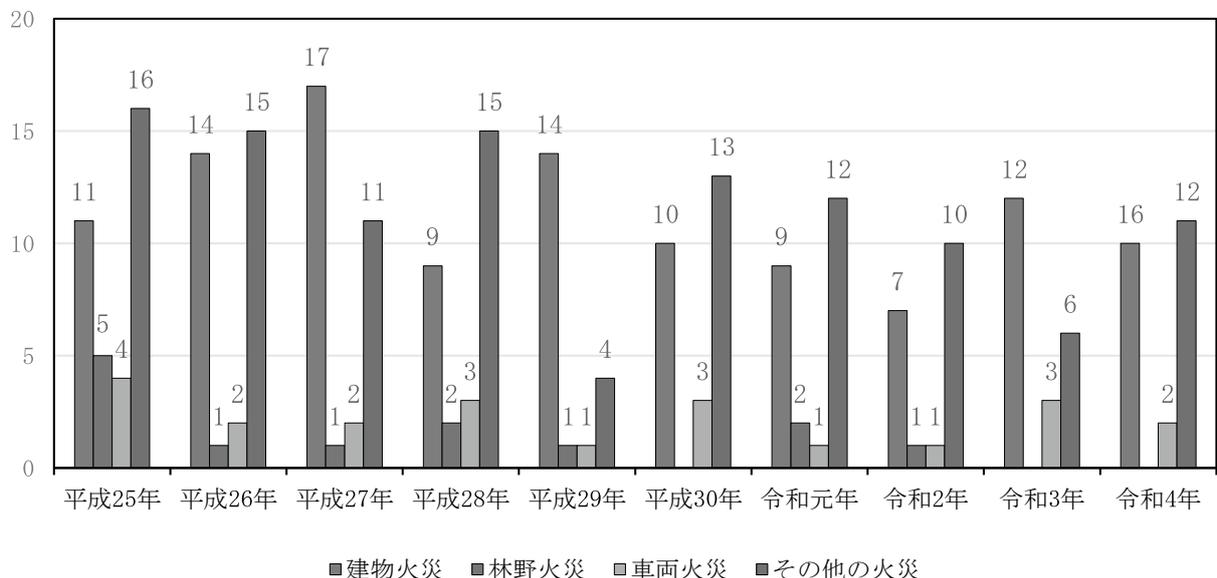
火 災

火災の状況

区 分		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出 火 件 数	総 数	36	32	31	29	20	26	24	19	21	30
	建物火災	11	14	17	9	14	10	9	7	12	16
	林野火災	5	1	1	2	1		2	1		
	車両火災	4	2	2	3	1	3	1	1	3	2
	その他の火災	16	15	11	15	4	13	12	10	6	12
焼 損 棟 数	総 数	14	23	26	10	17	12	12	9	30	25
	全 焼	6	12	11	3	5	3	4	2	11	8
	半 焼	2	1	1		1		3		3	
	部 分 焼	2	5	9	2	4	1	4	2	10	9
	ぼ や	4	5	5	5	7	8	1	5	6	8
焼 損 面 積	建物(m ²)	967	1,466	5,824	652	633	1,019	1,923	219	2,191	766
	林野(a)	33	34	3	34	13		42	1,930		
損害額(千円)		38,753	59,814	440,766	27,232	80,592	37,389	94,585	49,711	117,890	38,447
り災世帯数		4	9	12	8	6	5	13	3	15	9
り災人員		7	20	32	11	17	13	22	5	32	17
死 者			1	4	1	1	2		1	1	1
負 傷 者		4	5	7	3	8	6	4	4		3

年次別・火災種別出火件数

(件)



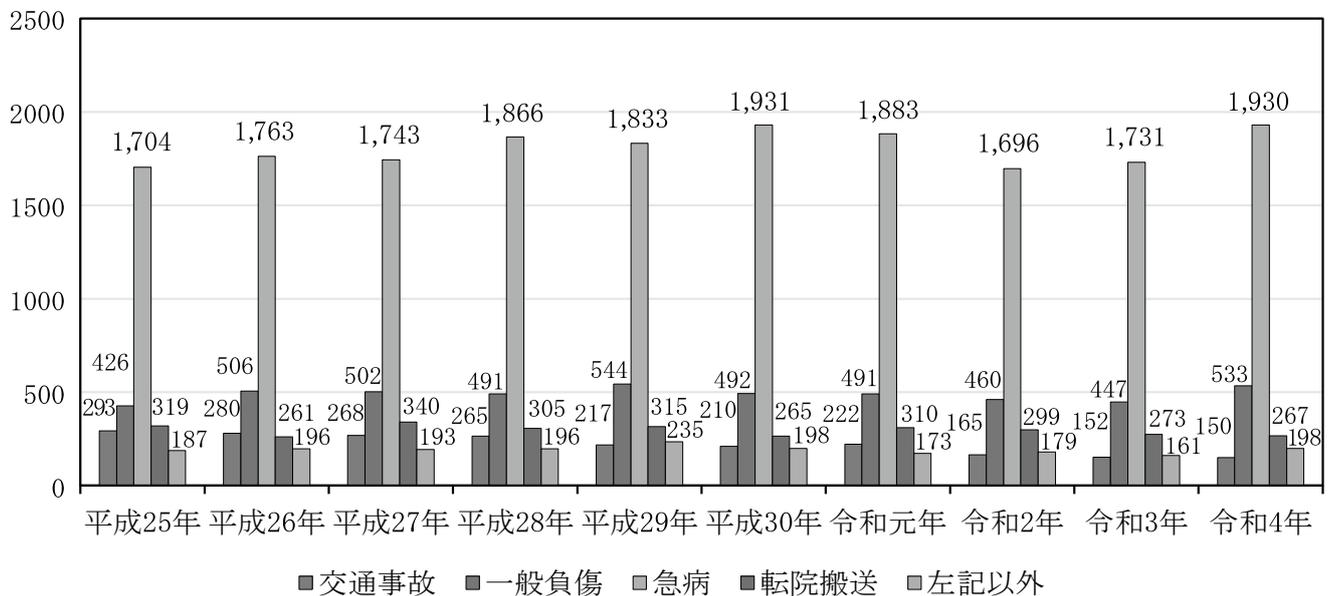
救 急

救急の状況

区 分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総 数	2,929	3,006	3,046	3,123	3,144	3,096	3,079	2,799	2,764	3,078
火 災	4	4	6	2	9	5	1	6		4
自然災害	1				1					
水難事故		2	4	1	8	1	1	1	1	1
交通事故	293	280	268	265	217	210	222	165	152	150
労働災害	26	34	29	28	40	15	35	20	12	30
運動競技	24	16	14	33	21	20	12	7	5	6
一般負傷	426	506	502	491	544	492	491	460	447	533
加 害	7	7	6	10	3	9	1	8	2	1
自損行為	21	19	13	22	13	25	10	23	17	22
急 病	1,704	1,763	1,743	1,866	1,833	1,931	1,883	1,696	1,731	1,930
転院搬送	319	261	340	305	315	265	310	299	273	267
その他	104	114	121	100	140	123	113	114	124	134

年次別・事故種別発生状況

(件)



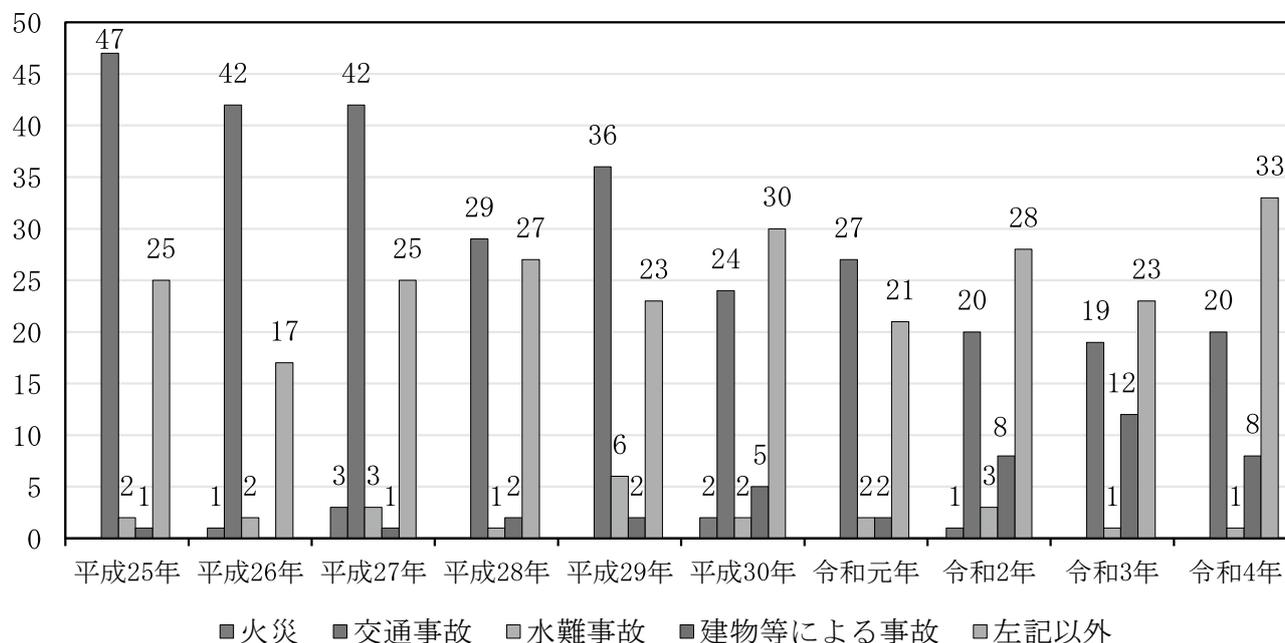
救 助

救助の状況

区 分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
総 数	75	62	74	59	67	63	52	60	55	62
火 災		1	3			2		1		
交通事故	47	42	42	29	36	24	27	20	19	20
水難事故	2	2	3	1	6	2	2	3	1	1
自然災害	1					4				
機械による事故	1	2	2	3			1	5	1	
建物等による事故	1		1	2	2	5	2	8	12	8
ガス及び職欠事故										
破裂事故										
その他の事故	23	15	23	24	23	26	20	23	22	33
救助活動件数	38	35	49	35	40	44	30	43	32	37
救助人員	42	38	54	43	44	54	31	46	31	38

年次別・事故種別発生状況

(件)



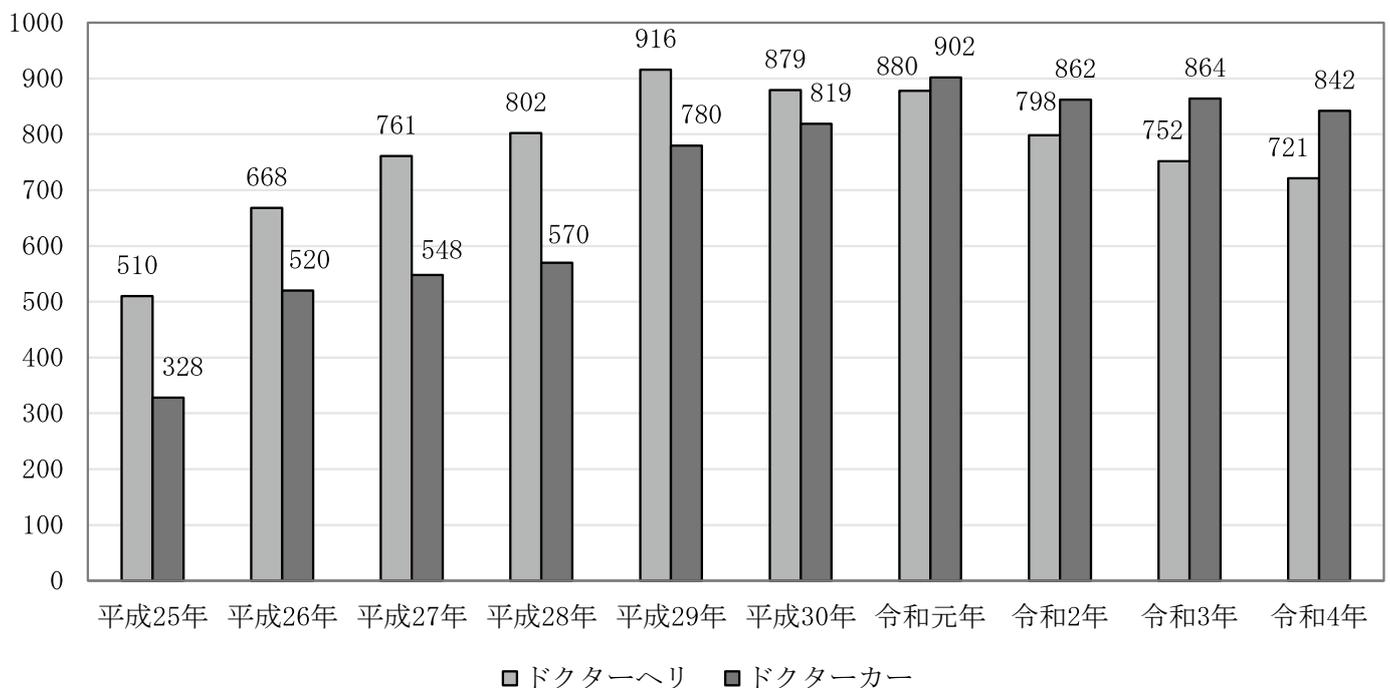
ドクターヘリ・ドクターカー

ドクターヘリ・カー要請の状況

区 分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
総 数	838	1,188	1,309	1,372	1,696	1,698	1,782	1,660	1,616	1,563
交通事故	102	109	111	109	105	96	125	88	83	72
一般負傷	86	154	122	112	146	134	156	121	100	105
急 病	589	854	1,002	1,067	1,333	1,389	1,407	1,324	1,363	1,301
転院搬送	24	25	38	47	56	46	62	79	44	43
そ の 他	37	46	36	37	56	33	32	48	26	42

年次別・ドクターヘリ・カー要請状況

(件)



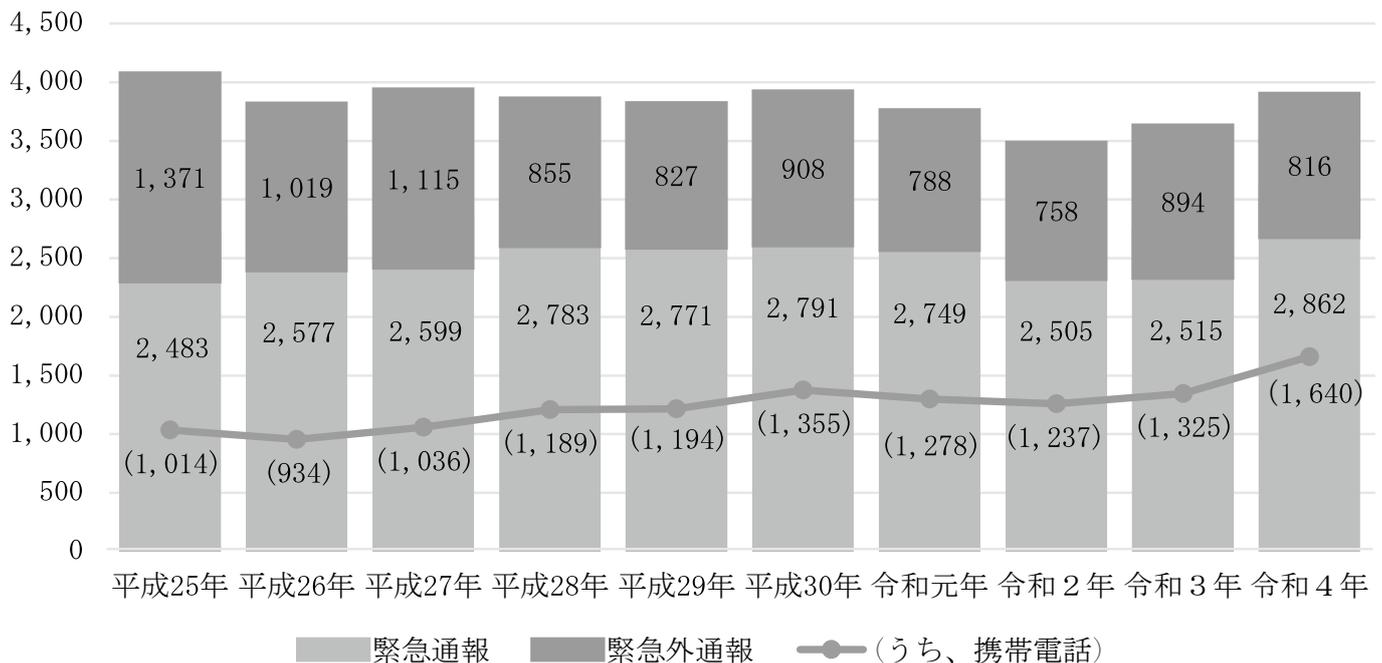
通 信

119 番通報の受信状況

区 分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	
総 数 (うち携帯電話)	3,854 (1,014)	3,596 (934)	3,714 (1,036)	3,638 (1,189)	3,598 (1,194)	3,699 (1,355)	3,537 (1,278)	3,263 (1,237)	3,409 (1,325)	3,678 (1,640)	
緊急通報	火災通報	25	23	22	21	15	23	18	12	19	26
	救急要請	2,329	2,397	2,412	2,576	2,591	2,572	2,545	2,327	2,291	2,618
	災害の第2報等	106	130	131	146	127	149	155	132	150	172
	その他	23	27	34	40	38	47	31	34	55	46
	計	2,483	2,577	2,599	2,783	2,771	2,791	2,749	2,505	2,515	2,862
緊急外通報	通報訓練	446	347	324	327	305	304	345	296	302	272
	間違い	147	136	115	90	94	117	88	133	115	107
	問合わせ	83	52	43	74	83	111	62	73	107	92
	病院照会	110	85	103	59	65	48	48	25	22	23
	その他	585	399	530	305	280	328	245	231	348	322
	計	1,371	1,019	1,115	855	827	908	788	758	894	816

年次別・119 番受信状況

(件)



防火対象物数

用途別		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 数		3,167	3,186	3,203	3,214	3,095	3,095	3,115	3,126	3,122	3,126
1	イ 映 画 館 等	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	ロ 集 会 場 等	188	190	189	189	189	189	190	189	189	76
2	イ キ ャ バ レ ー 等	1	1	1	1						
	ロ 遊 技 場 等	5	5	5	4	3	3	3	3	3	4
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	1	1	1						
3	イ 料 理 店 等										
	ロ 飲 食 店 等	79	80	78	78	71	67	68	68	73	75
4	店 舗 等	158	159	159	161	145	144	145	144	143	139
5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	160	156	160	156	125	127	123	120	113	113
	ロ 共 同 住 宅 等	334	337	340	338	331	331	330	329	328	324
6	イ 病 院 等	46	45	48	48	43	43	44	44	44	44
	ロ グ ル ー プ ホ ー ム 等	34	35	41	42	40	41	41	41	42	42
	ハ デ イ サ ー ビ ス ・ 保 育 所	94	93	94	92	96	95	98	96	91	91
	ニ 幼 稚 園 等	18	17	13	13	6	6	6	5	5	5
7	学 校 等	114	114	111	112	107	107	107	108	108	108
8	図 書 館 等	17	17	17	17	17	17	17	17	19	19
9	イ サ ウ ナ 風 呂 等										
	ロ 公 衆 浴 場 等	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
10	車 両 の 停 車 場	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
11	神 社 ・ 寺 院 等	93	93	93	93	95	95	95	95	95	96
12	イ 工 場 等	505	514	514	519	499	495	507	504	506	505
	ロ 映 画 ス タ ジ オ 等	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
13	イ 駐 車 場 等	43	44	43	45	44	44	44	44	44	45
14	倉 庫	282	280	281	284	269	269	268	272	271	271
15	そ の 他 の 事 業 所	689	696	701	707	711	717	722	738	737	854
16	イ 複 合 用 途 (特 定)	169	165	170	168	160	157	159	160	163	166
	ロ 複 合 用 途 (非 特 定)	101	108	108	110	105	109	109	110	109	106
17	文 化 財 建 造 物	22	22	22	22	25	25	25	25	25	29

危険物施設数

危険物施設		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総数		353	342	341	330	322	315	311	302	295	292
製造所		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
貯蔵所	屋内貯蔵所	32	31	32	32	32	33	34	33	33	34
	屋外タンク貯蔵所	39	36	36	36	36	34	34	34	33	33
	屋内タンク貯蔵所	17	17	17	17	16	15	15	14	14	14
	地下タンク貯蔵所	118	114	112	102	100	97	93	90	85	83
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	移動タンク貯蔵所	23	23	23	23	19	18	20	19	20	20
	屋外貯蔵所	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
取扱所	給油取扱所	56	53	51	49	51	51	50	48	47	45
	一般取扱所	60	60	62	63	60	59	57	56	55	55

危険物施設設置許可等の状況

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総数	63	78	103	57	90	70	79	69	53	79
設置許可	2	6	9	3	3	2	2	1	4	2
変更許可	22	28	31	16	34	25	28	27	21	37
仮使用承認	17	21	24	14	30	20	25	24	19	33
仮貯蔵・仮取扱承認	7	3	10	7	1	4	4	7	2	1
タンク検査	15	20	29	17	22	19	20	10	7	6

第 2 編

年 報

消防本部・消防署の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】
朝来市和田山町枚田436番地 1
【建築年月】
昭和51年12月（平成16年 9 月耐震化工事完了）
（平成28年 9 月駐車場修繕工事完了）

【敷地面積】
2,651.40㎡

【構造】
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建



消防署

養父消防署

【住所】
養父市八鹿町高柳173番地
【建築年月】
昭和53年12月（平成26年12月耐震化工事完了）
（平成30年 7 月駐車場舗装修繕工事完了）

【敷地面積】
1,368.81㎡

【構造】
鉄筋コンクリート造 2 階建



出張所

朝来消防署生野出張所

【住所】
朝来市生野町口銀谷222番地 1
【建築年月日】
昭和52年11月
【敷地面積】
585.55㎡
【構造】
鉄筋コンクリート造 2 階建



養父消防署大屋出張所

【住所】
養父市大屋町樽見549番地
【建築年月】
昭和54年12月
（平成26年 8 月耐震化（事務所棟建替）工事完了）
【敷地面積】
751.93㎡
【構造】
鉄骨造 2 階建



消防車両一覧

(令和5年3月31日現在)

種 別		メーカー	導入年度	経過年数	エンジン	
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成30年	4年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-I型	日野	令和元年	3年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車15m級	日野	平成28年	6年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成29年	5年	ディーゼル
	5	高規格救急自動車	トヨタ	令和4年	1年	ガソリン
	6	高規格救急自動車	トヨタ	平成29年	5年	ガソリン
	7	高規格救急自動車	トヨタ	平成26年	8年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	令和3年	1年	ディーゼル
	9	指揮支援車	日産	平成21年	13年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年	11年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年	13年	-
	12	司令車	ホンダ	平成21年	13年	ハイブリット
生野出張所	13	消防ポンプ自動車CD-I型	日野	平成30年	4年	ディーゼル
	14	高規格救急自動車	トヨタ	令和3年	1年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年	10年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年	12年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-I型	日野	令和3年	1年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年	16年	ディーゼル
	4	高規格救急自動車	トヨタ	平成25年	9年	ガソリン
	5	高規格救急自動車	トヨタ	令和元年	3年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年	15年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年	13年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年	9年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車CD-I型	トヨタ	平成23年	11年	ディーゼル
	10	高規格救急自動車	トヨタ	平成30年	4年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年	9年	ガソリン

令和4年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	南但消防本部辞令交付式（職員採用者3名） 山火事防止月間（～4/30）
4月 6日	兵庫県消防学校「初任教育」3名入校
4月11日	播但地区消防長会議（於：姫路市）
4月19日	危険物安全協会理事会（於：但馬長寿の郷）
4月22日	県下消防長会春季連絡会議（於：神戸市）
5月17日	女性活躍支援研修（於：但馬長寿の郷）
5月20日	南但危険物安全協会総会（於：但馬長寿の郷）
5月25日	安全運転管理者講習（於：ジュピターホール）
6月 5日	危険物安全週間（～6/11）
6月 9日	兵庫県危険物安全・安心大会（於：神戸市）
6月17日	県下違反是正推進部会（於：神戸市）
6月23日	朝来市自主防災推進協議会総会・講演会（於：ジュピターホール）
6月28日	水難救助訓練（～6/29 於：山東町金浦調整池）
7月 1日	兵庫県防災ヘリ合同訓練（於：八鹿ヘリポート）
7月 6日	播但警防担当者会議（書面会議）、県下救急担当者会議（web会議）
7月11日	甲種防火管理新規講習（～7/12 於：但馬長寿の郷）
7月14日	キャリアトークカフェ（於：生野高校）
7月15日	キャリアトークカフェ（於：和田山高校）
7月23日	第50回消防救助技術近畿地区指導会（於：兵庫県消防学校）
8月 6日	DMAT 研修講師派遣（於：兵庫県消防学校）
8月 8日	和田山高校インターンシップ（～8/9）
8月26日	第50回全国消防救助技術大会（於：東京立川市）
9月 1日	救急救命士養成課程1名入校（於：兵庫県消防学校）
9月 4日	救急医療週間（～9/10）
9月 9日	火災調査研究会事例発表（於：神戸市）
9月22日	防火ポスター審査会（於：南但消防本部）
9月24日	初任教育査閲（於：兵庫県消防学校）
9月28日	第87期初任教育卒業式（於：兵庫県消防学校）
10月 3日	兵庫県消防学校「危険物科」1名入校（～10/7）
10月 4日	危険物保安講習（於：ジュピターホール）
10月12日	兵庫県消防学校山岳救助器具取扱技術研修（～10/14）
10月15日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（～10/16 於：滋賀県）
10月17日	兵庫県消防学校「火災調査科」1名入校（～10/28）
10月23日	兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会研修会（於：神戸市）
10月30日	朝来市消防団新入団員研修会（於：朝来グラウンド）
11月 1日	兵庫県消防学校「救助科」1名入校（～12/2） 北近畿豊岡自動車道現地調査・訓練（～11/2）
11月 4日	防火ポスター展（於：JA たじまんま、マックスバリュ養父店、～11/16）
11月 7日	緊急自動車運転者講習（～11/8 於：全但自動車教習所跡地）
11月 9日	秋季全国火災予防運動（～11/15）
11月11日	旅館・ホテル防火研修会（於：南但消防本部）
11月12日	緊急消防援助隊全国ブロック合同訓練（～11/13 於：静岡県）

月 日	内 容
1 1月 20日	危険物補助講習会（於：南但消防本部）
1 1月 26日	緊急車両運転者特別研修（～11/27 於：はりま交通研修センター）
1 2月 1日	消防訓練強化期間（～12/14）
1 2月 5日	兵庫県消防学校「警防科」1名入校（～12/16）
1 2月 9日	南但消防本部消防職員意見発表会
1 2月 15日	年末年始特別警戒（前期 12/15～12/24、後期 12/25～1/3）
1 2月 19日	兵庫県消防学校「中級幹部科」1名入校（～12/27）
1 2月 21日	朝来消防署高規格救急自動車更新
1 月 10日	兵庫県消防学校「救急科」2名入校（～3/3）
1 月 12日	令和5年消防出初式（於：南但消防本部）
1 月 31日	第13回但馬地区消防本部救助技術研究会（於：養父市福定 福定親水公園周辺）
2 月 2日	但馬3消防ヘリ・カー症例検討会（WEB会議）
2 月 7日	播但地区消防職員意見発表会（於：姫路市）
2 月 24日	警察合同雪中山岳遭難救助訓練（於：養父市福定 氷ノ山国際スキー場周辺）
3 月 1日	春季全国火災予防運動（～3/7）
3 月 6日	兵庫県消防学校「特殊災害科」1名入校（～3/17 於：兵庫県消防学校） 令和5年度新規航空隊員入隊前基礎教育研修（～3/17 於：神戸市）
3 月 12日	救急救命士国家試験（於：大阪市）
3 月 15日	病院・福祉施設防火研修会（於：南但消防本部）
3 月 16日	救急救命士養成課程修了式（於：兵庫県消防学校）
3 月 19日	大屋方面隊消防団合同訓練（於：養父市大屋町筏 レストハウス天滝周辺）
3 月 31日	退職者辞令交付式（退職者1名）

～おもな出来事～



南但消防本部辞令交付式 (4月1日 消防本部)

4月から新しく3名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く住民から信頼される消防士になることを誓いました。



水難救助訓練 (6月28日、29日)

磯部金浦池にて水難救助訓練を実施しました。水中での活動はより危険が伴うため、隊員同士で普段以上に連携を取り合い、訓練を実施しました。



和田山高校就業体験 (8月8日、9日)

就業体験として、和田山高校の生徒1名が朝来消防署で訓練に励みました。救助訓練をはじめ様々な訓練を実施し、消防の仕事に触れてもらいました。



第50回全国消防救助技術大会 (8月26日)

東京都立川市で第50回全国消防救助技術大会が開催され、当本部から2種目出場しました。各種目で入賞し、全国の舞台でも輝かしい成績を収めました。



緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 (10月15日、16日)

滋賀県で行われた訓練に当本部の救助小隊が参加しました。ブラインド型の訓練が行われ、他の隊と連携し有意義な訓練となりました。



緊急自動車運転者講習 (11月7日、8日)

全但自動車教習所跡地にて、緊急自動車運転講習を実施しました。各隊員は迅速かつ安全な運転技術の習得に努め、若手職員を中心に訓練に取り組みました。

～おもな出来事～



旅館・ホテル防火研修会 (11月11日)
朝来市内の旅館・ホテルを対象に防火研修会を実施しました。法令等の講義後、旅館・ホテルの関係者が消防用設備などの取扱要領を確認しました。



第6回緊急消防援助隊全国合同訓練 (11月12日、13日)
静岡県で行われた訓練に当本部の救急小隊が参加しました。大規模災害発生時には、全国の他隊と連携・情報共有を図り、災害現場で活動します。



新車両導入 (12月20日)
朝来消防署の救急車を更新しました。この車両には、最新鋭の資機材が搭載されており、これまで以上に効率よく活動ができるようになり、より住民サービスの向上を図れるようになりました。



消防出初式 (1月12日)
南但消防本部発足10周年という記念すべき年を迎えました。新型コロナウイルス感染予防の観点から、昨年度同様に式典と観閲のみとなりましたが、士気の高さを示しました。



第13回但馬地区救助技術研究会 (1月31日)
当本部が主催となり、養父市福定において但馬3消防本部合同で実施しました。雪中での活動に対する知識・技術を共有し、実災害時に備えて連携強化を図ることができました。



大屋方面隊合同訓練 (3月19日)
春の火災予防運動に伴う養父市消防団大屋方面隊との合同訓練を実施しました。訓練を通じて、消防団との連携強化を図りました。

一 目 統 計

構成市町	面 積	人 口	世帯数
2市	825.97km ²	50,272人	21,477世帯
養父市 朝来市	養父市422.91km ² 朝来市403.06km ²	養父市 21,756人 朝来市 28,516人	養父市 9,185世帯 朝来市 12,292世帯

(令和5年3月31日現在)

予 算	組 織	職 員 数	消 防 団 員 数
915,180千円	消防本部 1 消 防 署 2 出 張 所 2	94名	2,007名 養父市 1,127名 朝来市 880名

(令和5年4月1日現在)

防火対象物	危険物施設	防火団体	
3,126棟 養父市1,482棟 朝来市1,644棟	292施設 養父市 149施設 朝来市 143施設	朝来市自主防災推進協議会 396会員 地域会員 159会員 事業所会員233会員 賛助会員 4会員	養父市幼少年婦人防火委員会 10クラブ 幼年消防クラブ 7クラブ 少年消防クラブ 2クラブ 婦人防火クラブ 1クラブ

(令和5年3月31日現在)

火 災	救 急	救 助	そ の 他
30件 【出火原因】 ①焼却火 ②こんろ たばこ その他	出動件数 3,078件 搬送人員 2,762名 【事故種別】 ①急病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 62件 救助人員 38名 【事故種別】 ①交通事故 ②建物等による事故	出動件数 923件 【種別】 ①へり支援 650件 ②救急支援 185件 ③その他 88件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救急車
119番総受信回数 3,678回 緊急通報受信回数 2,862回	タンク車 1台 ポンプ車 4台	はしご車 1台 救助工作車 2台 化学車 1台	高規格救急車 7台

概 要 編

凡例

統計中の符号等の用法は、次のとおりです。

「0」……………該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「△」……………負数

「(空白)」…該当なし

管 理

1 令和4年度消防行政の推進

養父市及び朝来市の消防広域化により南但消防本部が発足し10年の節目を迎えました。この間、南但地域の安全と安心を守るため、広域化のメリットを最大限に活かし、増加する救急需要への対応や、災害規模に応じた初動体制の強化などを図ってきました。

広域化後の大量退職、大量採用を経て、職員の年齢構成は大きく変わり、知識、技術の伝承が課題となるなか、令和4年度は消防学校などの各種研修機関へ職員を派遣したほか、若手職員を対象とした職場内研修を実施するなど、組織力のさらなる向上を図りました。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念の基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 防火対象物や危険物施設の防火・保安体制確立
- (2) 住宅防火対策及び災害弱者対策の推進
- (3) 災害現場対応力の向上
- (4) 計画的かつ適正な資機材の保守管理
- (5) 風通しの良い職場づくり

2 令和4年度当初予算

令和4年度当初予算の総額は915,180千円で、前年と比較すると、33,941千円の減となっています。このうち人件費は762,699千円で歳出予算総額の83.3%を占めています。また、消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は51,546千円



を5.6%、前年比較すると57,760千円の減となっています。

主な事業としては、朝来消防署の高規格救急自動車を更新したほか、新型コロナウイルス等の感染防止対策として、各署所のトイレなど衛生設備の非接触化を行いました。

予 防

1 防火対象物の状況

令和4年度末の防火対象物は総数 3,126 棟で、市別では朝来市 1,644 棟、養父市 1,482 棟となっています。用途別では「その他の事業所」が 854 棟と最も多く約 27%を占めており、続いて「工場等」(505 棟)、「共同住宅等」(324 棟)となっています。

また、これら多くの人々が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は 409 件(棟数)で、防火安全上の不備欠陥事項がある対象物の関係者に対し改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

令和4年度末の危険物施設数は総数 292 施設で、市別では朝来市 143 施設、養父市 149 施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が 83 施設と最も多く約 28%を占めており、続いて「一般取扱所」(55 施設)、「給油取扱所」(45 施設)となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は 156 回で、全施設の約 53%に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。



朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。

(左) 秋の火災予防運動での行事の様子(生野こども園)

(下) 幼年消防クラブ員防火餅つきの様子(たいようこども園)

また、養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。



火 災

令和4年中の出火件数は30件で、前年(21件)と比較すると9件の増加となっています。

火災種別でみると、建物火災が16件、車両火災が2件、その他の火災が12件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は15件で、その内訳は、建物火災が8件、その他の火災が7件となっています。

養父市内の出火件数は15件で、その内訳は、建物火災が8件、車両火災が2件、その他の火災が5件となっています。

火災の損害は38,447千円で、前年と比較すると79,443千円減額しています。

死傷者をみると、建物火災で死者が1人、負傷者が3人発生しています。



火災の状況

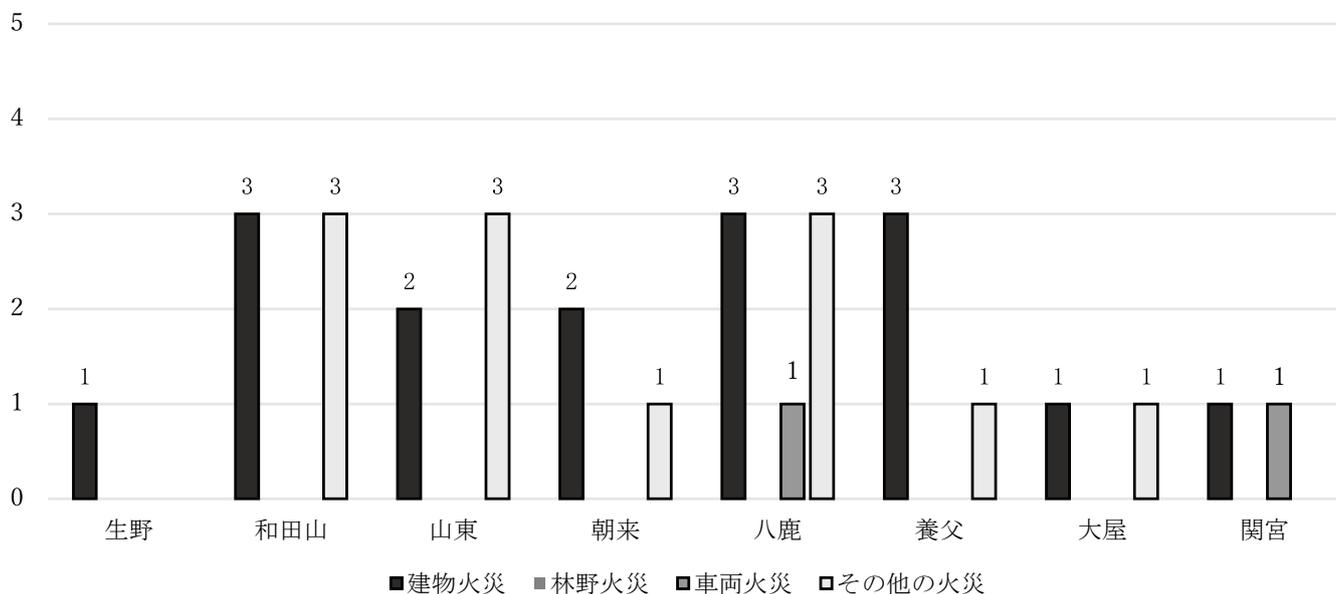
区 分		令和4年	令和3年	比較増減
出火件数	総 数	30	21	9
	建 物 火 災	16	12	4
	林 野 火 災			
	車 両 火 災	2	3	△1
	そ の 他 の 火 災	12	6	6
焼損棟数	総 数	25	30	△5
	全 焼	8	11	△3
	半 焼		3	△3
	部 分 焼	9	10	△1
	ぼ や	8	6	2
焼損面積	建 物 (m ²)	766	2,191	△1,425
	林 野 (a)			
損害額(千円)	総 額	38,447	117,890	△79,443
	建 物	38,347	116,621	△78,274
	林 野		23	△23
	車 両	78	248	△170
	そ の 他	22	998	△976
り 災 世 帯 数	9	15	△6	
り 災 人 員	17	32	△15	
死 者	1	1		
負 傷 者	3		3	

地域別の状況

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
出火件数	総 数	30	15	1	6	5	3	15	7	4	2	2
	建物火災	16	8	1	3	2	2	8	3	3	1	1
	林野火災											
	車両火災	2						2	1			1
	その他の火災	12	7		3	3	1	5	3	1	1	
焼損棟数	総 数	25	12	1	4	5	2	13	3	6	3	1
	全 焼	8	4		1	3		4		2	2	
	半 焼											
	部分焼	9	3		2	1		6	2	3	1	
	ぼ や	8	5	1	1	1	2	3	1	1		1
焼損面積	建物 (㎡)	766	567		57	510		199	2	123	74	
	林野 (a)											
損害額 (千円)	38,447	33,268	77	2,499	30,537	155	5,179	100	4,423	595	61	
り災世帯数	9	3		1	2		6		5		1	
り災人員	17	4		1	3		13		9		4	
死 者	1				1							
負 傷 者	3	1				1	2	2				

地域別・火災種別出火件数

(件)



救 急

令和4年中の救急件数は3,078件、搬送人員は2,762人で、前年(2,764件、2,531人)と比較すると件数で314件の増加、人員で231人の増加となっています。

事故種別でみると、急病が1,930件で最も多く、次いで一般負傷533件、転院搬送267件、交通事故150件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,542件、養父市内の救急件数は1,535件、管外が1件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野252件、和田山794件、山東230件、朝来266件となっており、養父市内は、八鹿618件、養父424件、大屋196件、関宮297件となっています。



救急の状況

区 分	令和4年		令和3年		比較増減
	件 数	比率 (%)	件 数	比率 (%)	
総 数	3,078	100	2,764	100	314
火 災	4	0.1			4
自然災害					
水難事故	1	0.1	1	0.1	
交通事故	150	4.9	152	5.5	△ 2
労働災害	30	1.0	12	0.4	18
運動競技	6	0.2	5	0.2	1
一般負傷	533	17.3	447	16.2	86
加 害	1	0.1	2	0.1	△ 1
自損行為	22	0.7	17	0.6	5
急 病	1,930	62.7	1,731	62.6	199
転院搬送	267	8.6	273	9.9	△ 6
そ の 他	134	4.3	124	4.4	10

※その他とは、上記以外のもの。(例) 医師搬送など。

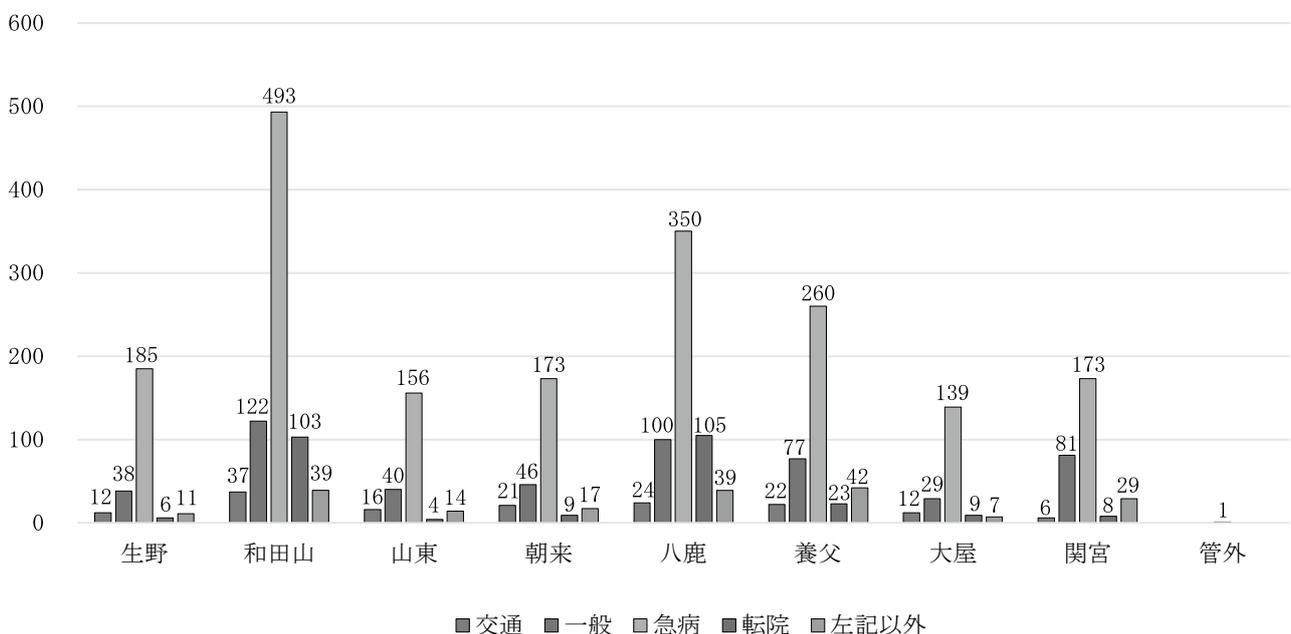
地域別の状況

(単位：件)

区分	総数	朝来市					養父市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	3,078	1,542	252	794	230	266	1,535	618	424	196	297	1
火災	4	3		1	1	1	1	1				
自然災害												
水難事故	1						1				1	
交通事故	150	86	12	37	16	21	64	24	22	12	6	
労働災害	30	16	1	10	4	1	14	4	3	2	5	
運動競技	6						6	5	1			
一般負傷	533	246	38	122	40	46	287	100	77	29	81	
加害	1	1		1								
自損行為	22	16	2	10	1	3	6		4	1	1	
急病	1,930	1,007	185	493	156	173	922	350	260	139	173	1
転院搬送	267	122	6	103	4	9	145	105	23	9	8	
その他	134	45	8	17	8	12	89	29	34	4	22	

地域別・事故種別発生状況

(件)



救 助

令和4年中の救助件数は62件、前年(55件)と比較すると件数で7件の増加となっています。

事故種別でみると、交通事故が20件、建物等による事故が8件、水難事故が1件、その他の事故が33件となっています。

地域別の出動状況を見ると、朝来市内は、生野1件、和田山21件、山東4件、朝来4件、養父市内は、八鹿12件、養父9件、大屋2件、関宮9件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は37件で、38人を救助しました。



救助の状況

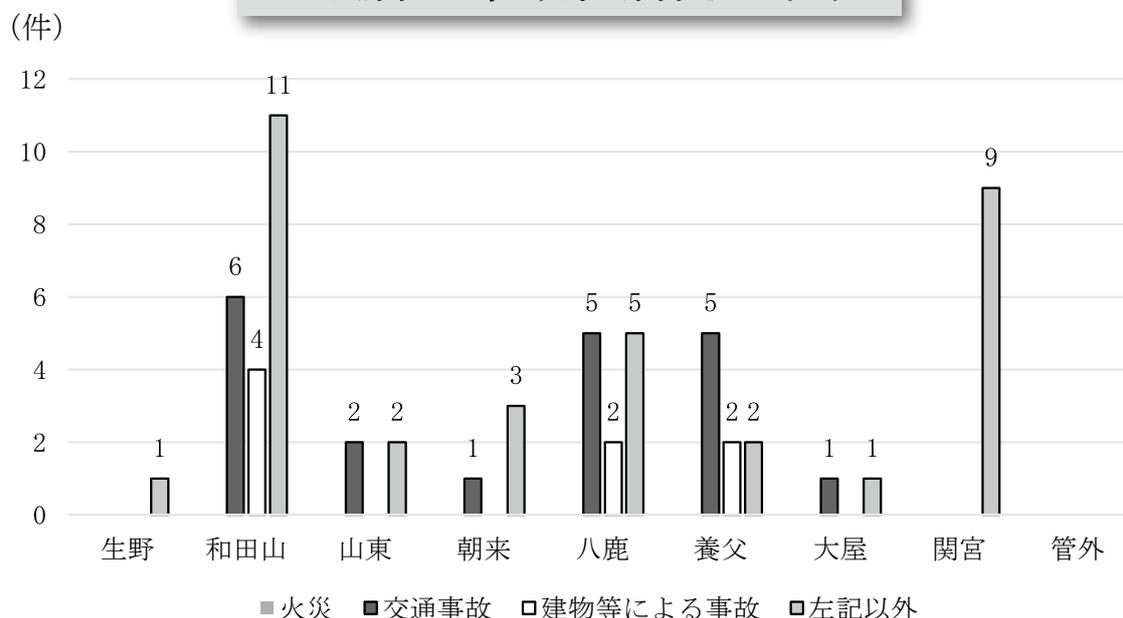
区 分	令和4年	令和3年	比較増減
	件数	件数	
総数	62	55	7
火災			
交通事故	20	19	1
水難事故	1	1	
自然災害			
機械による事故		1	△ 1
建物等による事故	8	12	△ 4
ガス及び酸欠事故			
破裂事故			
その他の事故	33	22	11

地域別の状況

(単位：件)

区分	総数	朝来市					養父市					管外	
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮		
救助件数	総数	62	30	1	21	4	4	32	12	9	2	9	
	火災												
	交通事故	20	9		6	2	1	11	5	5	1		
	水難事故	1						1				1	
	自然災害												
	機械による事故												
	建物等による事故	8	4		4			4	2	2			
	ガス及び酸欠事故												
	破裂事故												
	その他の事故	33	17	1	11	2	3	16	5	2	1	8	
救助活動件数	救助活動件数	37	17	1	11	3	2	20	7	5	1	7	
	救助人員	38	18	1	12	3	2	20	7	5	1	7	

地域別・事故種別発生状況



通 信

令和4年中の119番受信件数は3,678件で、その内訳は緊急通報が2,862件、緊急外通報が816件となっています。

前年と比較すると、緊急通報で347件の増加、緊急外通報では78件の減少となっています。

また、携帯電話からの119番通報は1,640件で、前年と比較すると315件の増加となっています。



通信の状況

(単位：件)

区 分		令和3年	うち携帯電話	令和4年	うち携帯電話	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数		3,409	1,325	3,678	1,640	304	277	307	302	264	269	323	379	326	271	301	355
緊急通報	火災通報	19	13	26	18	2	1	3	6	4	0	0	0	4	0	2	4
	救急要請	2,291	897	2,618	1,160	226	200	235	189	189	204	224	262	234	200	209	246
	災害の第2報等	150	91	172	105	10	8	5	7	13	8	44	29	10	13	10	15
	その他	55	26	46	22	1	3	5	1	3	1	2	8	5	2	4	11
	計	2,515	1,027	2,862	1,305	239	212	248	203	209	213	270	299	253	215	225	276
緊急外通報	通報訓練	302	12	272	16	20	18	22	22	19	26	18	11	14	25	46	31
	間違い	115	65	107	75	7	6	4	13	9	7	10	14	11	10	8	8
	問合わせ	107	66	92	61	7	5	2	5	5	4	13	19	9	6	8	9
	病院照会	22	15	23	17	2	1	2	3	1	0	1	5	1	1	5	1
	その他	348	140	322	166	29	35	29	56	21	19	11	31	38	14	9	30
	計	894	298	816	335	65	65	59	99	55	56	53	80	73	56	76	79

統計資料編

管 理 編

管
理
編

令和 4 年度予算状況

(単位：千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比率 (%)
歳入	総計	915,180	△ 22,256	892,924	100.0
	分担金	871,014	△ 21,856	849,158	95.1
	使用料・手数料	751	400	1,151	0.1
	国県支出金	0	0	0	0.0
	繰入金	0	0	0	0.0
	繰越金	0	0	0	0.0
	地方債	40,900	△800	40,100	4.5
	諸収入他	2,515	0	2,515	0.3
歳出	総計	915,180	△ 22,256	892,924	100.0
	人件費	762,699	△ 17,242	745,457	83.5
	物件費	88,393	236	88,629	9.9
	建設事業費	51,546	△ 5,050	46,496	5.2
	維持補修費	5,103	100	5,203	0.6
	補助費等	7,439	△300	7,139	0.8
	公債費	0	0	0	0.0

令和 4 年度職員給与費の実態

職員給与

(単位：千円)

職員数 (A)	令和 4 年度給与費				一人当たりの 給与費(B)/(A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
96	337,377	110,297	128,411	576,085	6,001

初任給の状況 (高校卒)

	消防職	一般行政職	国
初任給	1級8号給	1級5号給	1級5号棒
金額	157,900	154,600	154,600

階級別勤続年数

(令和5年3月31日現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	95	1	24	29	19	7	15
1 年 未 満	3						3
1 年 ～ 5 年	17				2	3	12
6 年 ～ 10 年	23			2	17	4	
11 年 ～ 15 年	10			10			
16 年 ～ 20 年	8		1	7			
21 年 ～ 25 年	9		2	7			
26 年 ～ 30 年	13		11	2			
31 年 ～ 35 年	8	1	6	1			
3 6 年 以 上	4		4				

年齢別職員構成

(令和5年3月31日現在)

階級 年齢区分	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	95	1	24	29	19	7	15
2 0 歳 以 下	2						2
21 歳 ～ 25 歳	13					1	12
26 歳 ～ 30 歳	18				12	5	1
31 歳 ～ 35 歳	16			8	7	1	
36 歳 ～ 40 歳	9			9			
41 歳 ～ 45 歳	8			8			
46 歳 ～ 50 歳	15		11	4			
51 歳 ～ 55 歳	5		5				
5 6 歳 以 上	9	1	8				

研修派遣状況

(単位：人)

階 級 研修科目	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	18		3	5	2	3	5
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	15		2	3	2	3	5
初 任 教 育	3						3
警 防 科	1					1	
特 殊 災 害 科	1			1			
危 険 物 科	1			1			
火 災 調 査 科	1			1			
救 急 科	2						2
救 助 科	1				1		
中 級 幹 部 科	1		1				
救 急 救 命 士 養 成 課 程	1				1		
ビデオ喉頭鏡追加講習	1					1	
山岳用救助器具取扱技術研修	1					1	
惨事ストレス研修	1		1				
《 国 立 登 山 研 究 所 》	1			1			
山 岳 遭 難 救 助 研 修 会	1			1			
《 兵 庫 県 自 治 研 修 所 》	2		1	1			
管 理 職 研 修	1		1				
監 督 職 研 修	1			1			

階級別資格取得状況

(令和5年3月31日現在)

階 級		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
資 格								
運 転 免 許	大 型	82	1	22	28	17	6	8
	普 通	95	1	24	29	19	7	15
危険物取扱者 (甲種)		2			2			
危険物取扱者 (乙種)		81	1	22	27	18	2	11
消防設備士 (甲種)		1					1	
消防設備士 (乙種)		14	1	7	4	2		
特 殊 無 線 乙		95	1	24	29	19	7	15
救 急 救 命 士 資 格		42		15	19	3	2	3
気 管 挿 管 認 定		34		15	16	3		
薬 剤 投 与 認 定		40		15	19	3	2	1
救急隊員資格 (Ⅱ課程)		25	1	21	3			
救急隊員資格 (標準課程)		70		3	26	19	7	15
応 急 手 当 指 導 員		95	1	24	29	19	7	15
救助隊員資格 (1号)		42		17	20	5		
潜 水 士		9		1	4	3		1
小 型 船 舶 操 縦 士		25	1	6	10	6	2	
玉 掛 技 能 者		53		10	21	15	4	3
移 動 式 ク レ ー ン		53		10	21	16	3	3
安 全 衛 生 推 進 者		2	1	1				
予 防 技 術 資 格 者		17		5	9	3		

消防相互応援協定等の締結状況

(令和5年3月31日現在)

締結年月日	内 容
平成25年4月1日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成25年4月1日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成27年2月15日	朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成27年2月15日	養父市及び養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)
平成29年1月13日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成29年3月25日	国土交通省豊岡河川国道事務所、豊岡市と北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山インターチェンジから日高神鍋高原インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(新規)
平成31年3月26日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
令和5年3月7日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)

予 防 編

予
防
編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

（令和5年3月31日現在）

用途別	防火対象物									3階以上対象物									
	総数	朝来市				養父市				総数	朝来市				養父市				
		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	3,126	217	918	281	228	638	343	251	250	383	26	120	24	12	113	25	8	55	
1	イ映画館等	2	1	1						2	1	1							
	ロ集会場等	76	4	21	8	7	13	8	5	10	7		4	1	1	1			
2	イキャバレー等																		
	ロ遊技場等	4		2			1	1											
	ニカラオケボックス等																		
3	イ料理店等																		
	ロ飲食店等	75	2	28	7	3	9	15	4	7	4		1	1	2				
4	店舗等	139	7	71	9	10	16	17	2	7	5		4		1				
5	イ旅館・ホテル等	113	4	16	11	6	9	4	7	56	46		8	1	2	1	1	33	
	ロ共同住宅等	324	24	150	30	18	52	34	6	10	83	8	27	9	1	25	8	5	
6	イ病院等	44	2	17	2	5	12	5		1	8		2	4	2				
	ログループホーム等	42	3	8	6	7	4	4	8	2	4		1	1	1			1	
	ハデイサービス・保育所	91	6	20	12	13	19	11	8	2	2			1	1				
	ニ幼稚園等	5		5							2		2						
7	学校等	108	18	18	7	6	44	7	4	4	38	6	11	2	1	11	2	2	3
8	図書館等	19	6	3	1	3	1	1	4		1		1						
9	イサウナ風呂等																		
	ロ公衆浴場等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	96	12	12	3	1	19	24	11	14	1	1							
12	イ工場等	505	38	151	54	46	101	57	34	24	23	5	4	1	7	3		3	
	ロ映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ駐車場等	45	1	13	4	6	11	3	2	5									
14	倉庫	271	27	85	31	17	60	26	12	13	9	1	1	2	5				
15	その他の事業所	854	47	196	73	64	176	93	132	73	70	2	25	5	1	20	7	4	6
16	イ複合用途（特定）	166	2	57	10	5	55	17	7	13	47	1	16	2	1	22	1	1	3
	ロ複合用途（非特定）	106	6	41	6	4	25	14	4	6	29	1	11	1	1	13	1		1
17	文化財建造物	29	6	1	6	6	8	1		1	1				1				

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

（令和5年3月31日現在）

用途別	査察件数			防火管理者									消防計画						
				対象数			選任数			選任率（%）			計画届出数			届出率（%）			
	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	
総数	409	315	94	692	350	342	673	342	331	97	98	97	663	339	324	96	97	95	
1	イ映画館等			2	2		2	2		100	100		2	2		100	100		
	ロ集会場等	8	4	4	65	35	30	53	28	25	82	80	83	51	28	23	78	80	77
2	イキャバレー等																		
	ロ遊技場等	1		1	4	2	2	4	2	2	100	100	100	4	2	2	100	100	100
	ニカラオケボックス等																		
3	イ料理店等																		
	ロ飲食店等	12	8	4	61	31	30	61	31	30	100	100	100	59	30	29	97	97	97
4	店舗等	42	39	3	86	55	31	85	55	30	99	100	97	85	55	30	99	100	97
5	イ旅館・ホテル等	100	79	21	76	17	59	76	17	59	100	100	100	76	17	59	100	100	100
	ロ共同住宅等	23	19	4	17	10	7	16	10	6	94	100	86	16	10	6	94	100	86
6	イ病院等	11	7	4	17	12	5	17	12	5	100	100	100	17	12	5	100	100	100
	ログループホーム等	25	24	1	28	17	11	28	17	11	100	100	100	28	17	11	100	100	100
	ハデイサービス・保育所	24	24		65	33	32	64	33	31	98	100	97	64	33	31	98	100	97
	ニ幼稚園等	2	2		1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
7	学校等	10	4	6	33	17	16	33	17	16	100	100	100	33	17	16	100	100	100
8	図書館等	1		1	11	8	3	11	8	3	100	100	100	11	8	3	100	100	100
9	イサウナ風呂等	2	2																
	ロ公衆浴場等				5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場																		
11	神社・寺院等	8	6	2	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
12	イ工場等	44	29	15	27	20	7	27	20	7	100	100	100	27	20	7	100	100	100
	ロ映画スタジオ等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ駐車場等	6	6																
14	倉庫	10	7	3	2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
15	その他の事業所	42	22	20	96	40	56	93	39	54	97	98	96	90	38	52	94	95	93
16	イ複合用途（特定）	20	18	2	81	39	42	80	39	41	99	100	98	77	38	39	95	97	93
	ロ複合用途（非特定）	5	4	1	6	3	3	6	3	3	100	100	100	6	3	3	100	100	100
17	文化財建造物	13	11	2	3	1	2	3	1	2	100	100	100	3	1	2	100	100	100

確認申請処理状況

(令和5年3月31日現在)

種 別	総 数	同意			指導による同意			不同意		不同意		
		朝来市	養父市	同 意	朝来市	養父市	指 導	による	同 意	朝来市	養父市	
総 数	40	23	17	20	10	10	20	13	7			
《工 事 別》												
新 築	38	21	17	20	10	10	18	11	7			
増 築	2	2					2	2				
改 築												
移 転												
修 繕												
模 様 替												
用 途 変 更												
《構 造 別》												
耐 火 構 造	2	2					2	2				
準 耐 火 構 造	4	4		4	4							
そ の 他	34	17	17	16	6	10	18	11	7			

消防教室実施状況

(令和5年3月31日現在)

実 施 区 分	対 象 数			参 加 人 員			時 間			消 防 職 員			
	総数	朝来	養父	総数	朝来	養父	全体	朝来	養父	総数	朝来	養父	
総 数	95	53	42	3,425	1,988	1,437	99:55	56:45	43:10	321	201	120	
地 区	7	2	5	201	91	110	8:30	1:45	6:45	14	3	11	
婦 人 ク ラ ブ	4		4	19		19	6:20		6:20	7		7	
老 人 ク ラ ブ													
P T A													
学 校	37	25	12	1,674	936	738	40:25	29:40	10:45	188	140	48	
幼・保育所	14	10	4	1,005	615	390	15:00	10:20	4:40	37	24	13	
事 業 所	公 共 施 設	5	2	3	116	89	27	4:50	2:40	2:10	10	4	6
	病 院・福 祉 施 設	5	2	3	59	14	45	2:30	1:00	1:30	18	4	14
	旅 館・ホ テ ル	8	3	5	103	43	60	7:40	3:10	4:30	19	8	11
	店 舗 等	2	1	1	70	60	10	2:00	1:00	1:00	5	3	2
	工 場 等	6	4	2	130	107	23	4:40	3:10	1:30	12	8	4
消 防 団													
そ の 他	7	4	3	48	33	15	8:00	4:00	4:00	11	7	4	

※ 普通救命講習会は含まない。(76頁参照)

危険物施設数及び立入検査回数

(令和5年3月31日現在)

危険物施設	総数	朝来市					養父市					立入検査		
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	朝来署	養父署	
総数	292	143	34	65	28	16	149	63	26	11	49	90	66	
製造所	3	2	2				1		1			2	1	
貯蔵所	屋内貯蔵所	34	20	7	9	3	1	14	9	2	2	1	19	10
	屋外タンク貯蔵所	33	24	8	8	5	3	9	4			5	22	3
	屋内タンク貯蔵所	14	4	3		1		10	7	1		2	4	6
	地下タンク貯蔵所	83	27	3	16	6	2	56	14	7	3	32	1	12
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1								
	移動タンク貯蔵所	20	11	1	3	3	4	9	5	3		1	12	9
	屋外貯蔵所	4	4	2	2								1	
取扱所	給油取扱所	45	19	2	10	5	2	26	14	6	3	3	20	20
	一般取扱所	55	31	6	17	4	4	24	10	6	3	5	9	5

危険物施設設置許可及び変更許可の状況

(令和5年3月31日現在)

危険物施設	総数	変更許可										設置許可	
		構造に関するもの		付属機器に関するもの		配管に関するもの		タンクに関するもの		その他		朝来市	養父市
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市		
総数	39	12	2	11	4	2	1	2	1	2		2	
製造所	4	2			1			1					
屋内貯蔵所	3			1						1		1	
屋外タンク貯蔵所													
屋内タンク貯蔵所	1					1							
地下タンク貯蔵所	1								1				
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所													
屋外貯蔵所													
給油取扱所	6		1		3	1		1					
一般取扱所	24	10	1	10			1			1		1	

市別・数量別危険物施設数

(令和5年3月31日現在)

危険物施設	総数	5倍以下		5倍を超え10倍以下		10倍を超え50倍以下		50倍を超え100倍以下		100倍を超え200倍以下		200倍を超えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	292	67	44	31	35	28	52	3	8	7	7	7	3
製造所	3					1		1	1				
貯蔵所	189	50	32	22	28	17	35		3	2			
屋内貯蔵所	34	11	5	7	5	1	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	33	7	3	6		10	6			1			
屋内タンク貯蔵所	14	1	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	83	17	11	6	17	4	27		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	20	11	9										
屋外貯蔵所	4	2				2							
取扱所	100	17	12	9	7	10	17	2	4	5	7	7	3
給油取扱所(営業用)	27		1					1	3	5	7	7	3
給油取扱所(自家用)	18	3			2	3	10						
一般取扱所	55	14	11	9	5	7	7	1	1				

市別・類別危険物施設数

(令和5年3月31日現在)

危険物施設	総数	1類		2類		3類		4類		5類		6類		混在	
		朝来市	養父市												
総数	292				1			141	144	1	2			1	2
製造所	3							2							1
貯蔵所	189				1			90	95		2			1	
屋内貯蔵所	34				1			19	11		2			1	
屋外タンク貯蔵所	33							24	9						
屋内タンク貯蔵所	14							4	10						
地下タンク貯蔵所	83							27	56						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	20							11	9						
屋外貯蔵所	4							4							
取扱所	100							49	49	1					1
給油取扱所(営業用)	27							13	14						
給油取扱所(自家用)	18							6	12						
一般取扱所	55							30	23	1					1

各種届出受理状況

(令和5年3月31日現在)

届 出 別		総 数	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任（解任）届出書		126	75	51
消防計画届出書		178	105	73
消防用設備等着工届出書		36	24	12
消防用設備等工事計画届出書		49	34	15
消防用設備等設置届出書		156	109	47
消防用設備等特例基準適用願		8	4	4
消防用設備等点検結果報告書		592	336	256
防火対象物定期点検結果報告書		53	28	25
防火自主点検結果報告書				
防火対象物使用開始届出書		70	52	18
火を使用する 設 備 等 の 設 置 届 出 書	熱風炉・炉・かまど	2	1	1
	ボイラー・給湯湯沸設備	11	5	6
	乾燥設備	4	2	2
	サウナ設備	1		1
	温風暖房機			
	厨房設備	2	2	
電 気 設 備 設 置 届 出 書	変電設備	11	8	3
	発電設備	3	1	2
	蓄電池設備	11	1	10
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		4	3	1
総 数		1,317	790	527

警 防 編

年次別火災発生状況

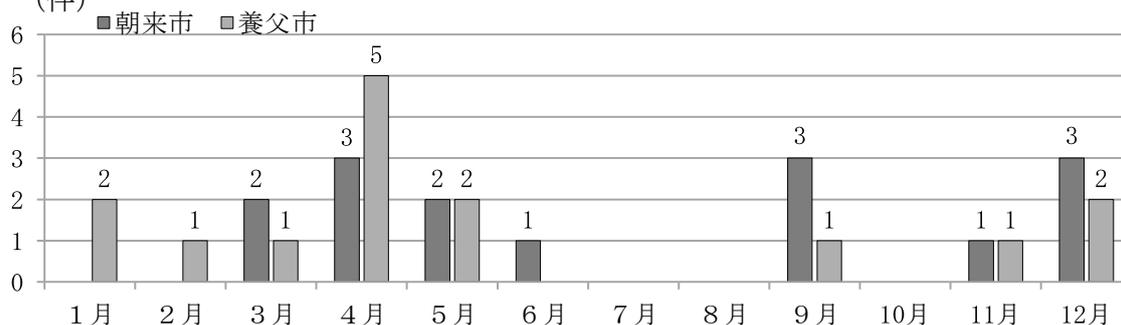
区分		年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出火件数	総数		26	24	19	21	30
	朝来市	小計	21	11	9	10	15
		建物火災	8	3	1	7	8
		林野火災			1		
		車両火災	2	1	1	1	
		その他の火災	11	7	6	2	7
	養父市	小計	5	13	10	11	15
		建物火災	2	6	6	5	8
		林野火災		2			
		車両火災	1			2	2
その他の火災		2	5	4	4	5	
焼損棟数	総数		12	12	9	30	25
	朝来市	小計	10	4	1	15	12
		全焼	3	1		5	4
		半焼		1		3	
		部分焼	1	2		4	3
		ぼや	6		1	3	5
	養父市	小計	2	8	8	15	13
		全焼		3	2	6	4
		半焼		2			
		部分焼		2	2	6	6
ぼや		2	1	4	3	3	
焼損面積	総数	建物 (㎡)	1,019	1,923	219	2,191	766
		林野 (a)		42	1,930		
	朝来市	建物 (㎡)	1,019	478		1,076	567
		林野 (a)			1,900		
	養父市	建物 (㎡)		1,445	219	1,115	199
		林野 (a)		42	30		

区分		年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
り 災 世 帯	総 数		5	13	3	15	9
	朝 来 市	小 計	5	4		9	3
		全 損	2	1		3	1
		半 損				2	
		小 損	3	3		4	2
	養 父 市	小 計		9	3	6	6
		全 損		5	1	2	1
		半 損		1			
小 損			3	2	4	5	
り 災 人 員	総 数		13	22	5	32	17
	朝 来 市		13	11		17	4
	養 父 市			11	5	15	13
損 害 額 (千円)	総 額		37,389	94,585	49,711	117,890	38,447
	朝 来 市	小 計	37,341	28,337	37,477	76,108	33,268
		建 物	34,801	25,836	1,069	75,075	33,268
		林 野			35,722		
		車 両	2,475	2,500	433	38	
		そ の 他	65	1	253	995	
	養 父 市	小 計	48	66,248	12,234	41,782	5,179
		建 物	9	39,136	12,178	41,546	5,079
		林 野		91	27	23	
		車 両	39	23,389		210	78
そ の 他			3,632	29	3	22	
死 傷 者	総 数	死 者	2		1	1	1
		負 傷 者	6	4	4		3
	朝 来 市	死 者	2				1
		負 傷 者	5				1
	養 父 市	死 者			1	1	
		負 傷 者	1	4	4		2

月別火災発生状況

種別		月別												
		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		30	2	1	3	8	4	1			4		2	5
朝来市	小計	15			2	3	2	1			3		1	3
	建物火災	8				1	1	1			2		1	2
	林野火災													
	車両火災													
	その他の火災	7			2	2	1				1			1
養父市	小計	15	2	1	1	5	2				1		1	2
	建物火災	8	2	1		2							1	2
	林野火災													
	車両火災	2					2							
	その他の火災	5			1	3					1			

(件)



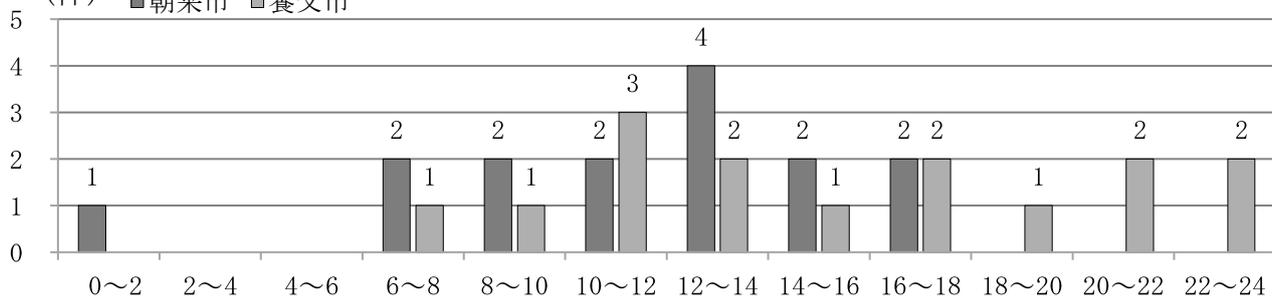
曜日別火災発生状況

種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		30	6	6	2	2	5	4	5
朝来市	小計	15	3	3	1		3	2	3
	建物火災	8	1	1			2	1	3
	林野火災								
	車両火災								
	その他の火災	7	2	2	1		1	1	
養父市	小計	15	3	3	1	2	2	2	2
	建物火災	8	1	2		1	1	2	1
	林野火災								
	車両火災	2	1		1				
	その他の火災	5	1	1		1	1		1

時間別火災発生状況

種別	時間別	総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
		総数	30	1			3	3	5	6	3	4	1	2
朝来市	小計	15	1			2	2	2	4	2	2			
	建物火災	8	1			2	1	1	1	1	1			
	林野火災													
	車両火災													
	その他の火災	7					1	1	3	1	1			
養父市	小計	15				1	1	3	2	1	2	1	2	2
	建物火災	8					1	1	1	1	2	1		1
	林野火災													
	車両火災	2						1					1	
	その他の火災	5				1		1	1				1	1

(件) ■朝来市 □養父市



(時)

使用した消防水利

消防水利	令和4年				令和3年	
	総数	建物火災	林野火災	車両火災		その他の火災
総数	18	8		1	9	14
自然水利	2	1		1		4
防火水槽	3	1			2	1
消火栓	10	6			4	5
積載水等	3				3	4

※事後聞知3件、放水なし9件は除く

覚知から現場到着までの所要時間

地区別		時間別						平均(分)
		総 数	5分以下	6～10分	11～15分	16～20分	21分以上	
総 数		27		11	14	1	1	12.4
朝 来 市	小 計	12		5	7			10.3
	生 野	1		1				8.0
	和 田 山	5		1	4			11.6
	山 東	4		2	2			10.8
	朝 来	2		1	1			11.0
養 父 市	小 計	15		6	7	1	1	14.4
	八 鹿	7		4	3			10.7
	養 父	4			3	1		15.0
	大 屋	2		1	1			11.0
	関 宮	2		1			1	21.0

※事後聞知3件は除く

放水開始から鎮火までの所要時間

地区別		曜日別 総 数	所要時間								平均(分)
			5分以下	6～10分	11～20分	21～30分	31～40分	41～50分	51～60分	61分以上	
総 数		18	3	2	4	2	2	3		2	32.3
朝 来 市	小 計	8	2		2	1	1	1		1	57.6
	生 野										
	和 田 山	4			2		1	1			28.5
	山 東	4	2			1				1	86.8
	朝 来										
養 父 市	小 計	10	1	2	2	1	1	2		1	27.7
	八 鹿	4	1	2			1				13.0
	養 父	3				1		2			37.3
	大 屋	2			1					1	47.5
	関 宮	1			1						13.0

※事後聞知3件、放水なし9件は除く

出 火 原 因

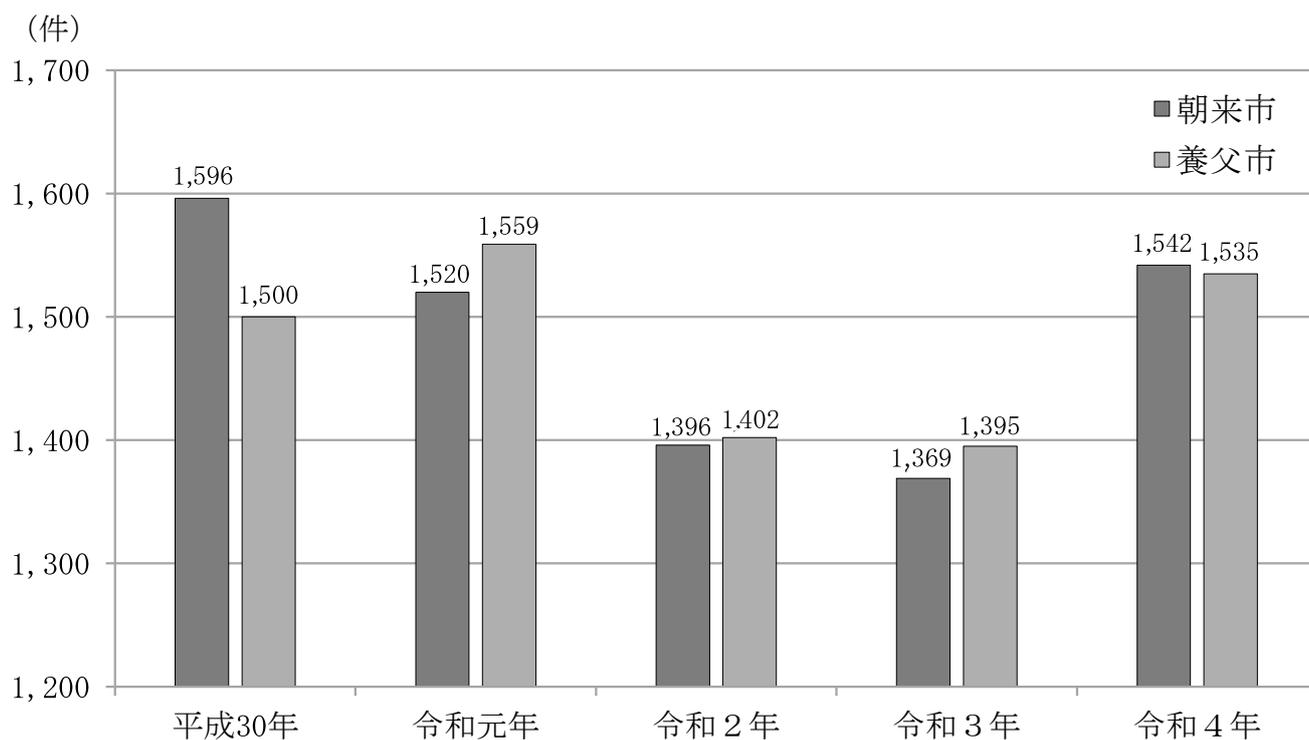
区 分		令 和 4 年					令 和 3 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他	総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他
総 数		30	16		2	12	21	12		3	6
裸 火	た ば こ	2	1			1					
	虫 焼 火										
	焼 却 火	7				7	6	1			5
	ライター・マッチ	1	1								
	そ の 他	2				2					
人 的	火 あ そ び	1	1								
	放火(放火の疑い)	2	2								
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ	1	1								
	こ ん ろ	2	2								
	溶接機・切断機						1	1			
	風呂用バーナー	1	1				1	1			
	そ の 他										
電 気 関 係	過 放 電						1	1			
	電 気 機 器						1	1			
	電 気 装 置	1	1								
	静 電 気										
	そ の 他										
車 両	ブ レ ー キ						1			1	
	エ ン ジ ン	1	1								
	電 気 系 統	1			1		1			1	
	そ の 他	1			1						
そ の 他	薪 ス ト ー ブ						1	1			
	焼 却 炉	1	1								
	グラインダーの火花	1	1								
	エンジンカッターの火花	1				1					
	そ の 他	2	2				1	1			
不 明		2	1			1	7	5		1	1

用途別火災発生状況

用途別	区分	火災発生件数 (件)	焼損面積		損害額 (千円)	焼損棟数 (棟)	死傷者	
			建物				死者 (人)	負傷者 (人)
			床面積 (㎡)	表面積 (㎡)				
総数		30	766	125	38,447	24	1	3
建物 火災	住宅	7	633	83	35,057	12	1	
	遊技場							
	飲食店							
	店舗							
	旅館・ホテル							
	病院・福祉施設							
	学校	1	2	1	11	1		
	神社・寺院							
	工場・作業場	3		1	98	3		2
	倉庫	3	57	24	2,540	4		1
	車庫							
	養鶏舎・養畜舎							
	事務所・官公署							
	その他	2	74	16	644	4		
林野火災								
車両火災		2			78			
その他の火災	畑	4			19			
	休耕田	3						
	公園							
	河川敷	1						
	その他	4						

年次別救急発生状況

種 別 \ 年 別		平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
総 数		3,096	3,079	2,799	2,764	3,078
朝 来 市	小 計	1,596	1,520	1,396	1,369	1,542
	交通事故	97	131	76	83	86
	一般負傷	235	236	224	211	246
	急 病	1,046	931	880	889	1007
	転院搬送	111	149	142	124	122
	そ の 他	107	73	74	62	81
養 父 市	小 計	1,500	1,559	1,402	1,395	1,535
	交通事故	113	91	88	69	64
	一般負傷	257	255	236	236	287
	急 病	885	952	816	842	922
	転院搬送	154	161	157	149	145
	そ の 他	91	100	105	99	117
管 外				1		1

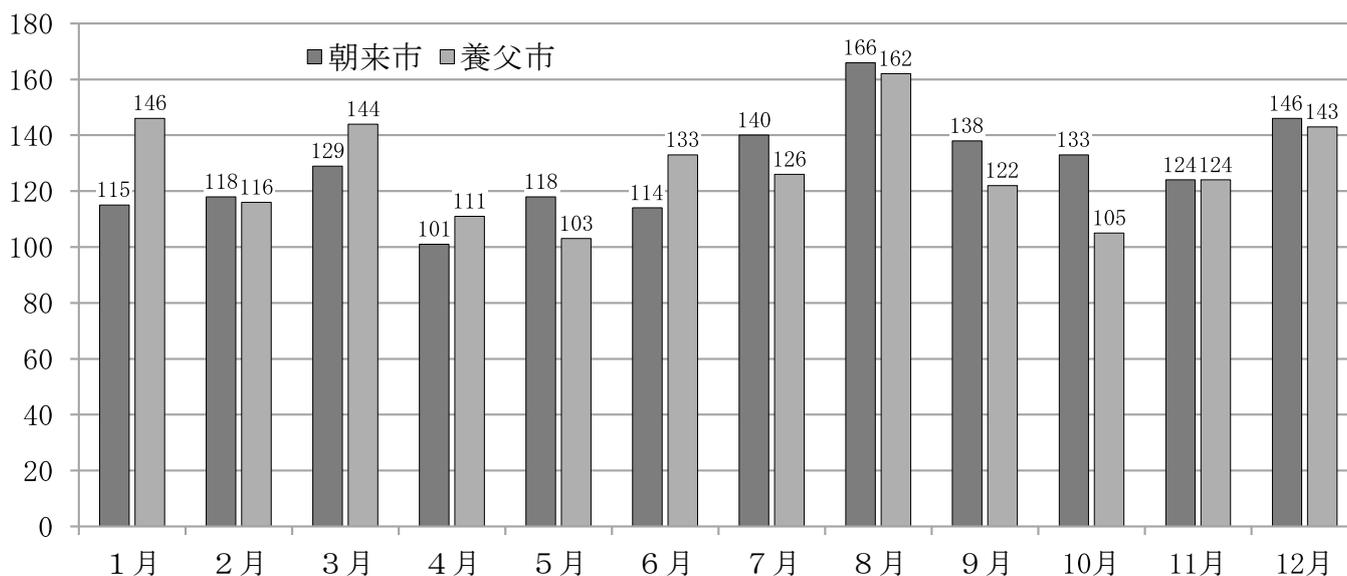


(管外を除く)

月別救急発生状況

種別		月別												
		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		3,078	261	234	274	212	221	247	266	328	260	238	248	289
朝来市	小計	1,542	115	118	129	101	118	114	140	166	138	133	124	146
	交通事故	86	9	5	11	5	4	7	13	6	7	4	9	6
	一般負傷	246	17	19	20	13	15	24	23	28	30	22	19	16
	急病	1,007	75	78	75	67	76	69	90	117	87	83	79	111
	転院搬送	122	11	11	14	13	10	8	6	9	9	15	10	6
	その他	81	3	5	9	3	13	6	8	6	5	9	7	7
養父市	小計	1,535	146	116	144	111	103	133	126	162	122	105	124	143
	交通事故	64	3	8	3		6	9	7	12	2	5	1	8
	一般負傷	287	39	24	30	19	12	20	20	23	24	27	26	23
	急病	922	84	62	83	67	67	80	74	103	78	57	71	96
	転院搬送	145	15	15	18	17	11	9	15	11	10	6	13	5
	その他	117	5	7	10	8	7	15	10	13	8	10	13	11
管外	小計	1			1									

(件)

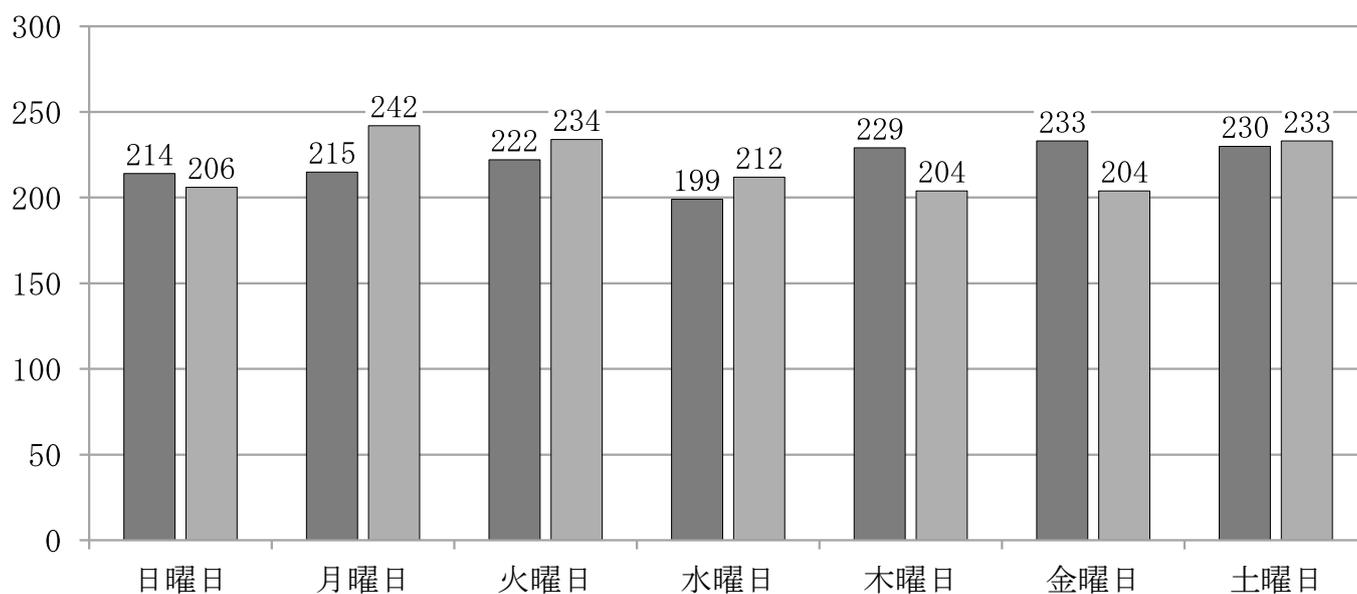


(管外を除く)

曜日別救急発生状況

種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		3,078	420	457	457	411	433	437	463
朝来市	小計	1,542	214	215	222	199	229	233	230
	交通事故	86	12	15	11	6	10	15	17
	一般負傷	246	40	21	36	34	45	32	38
	急病	1,007	156	146	142	127	135	150	151
	転院搬送	122		19	21	22	27	21	12
	その他	81	6	14	12	10	12	15	12
養父市	小計	1,535	206	242	234	212	204	204	233
	交通事故	64	10	10	9	6	8	12	9
	一般負傷	287	52	30	45	39	36	36	49
	急病	922	116	161	134	128	120	120	143
	転院搬送	145	8	27	28	21	20	27	14
	その他	117	20	14	18	18	20	9	18
管外	小計	1			1				

(件) ■朝来市 ■養父市

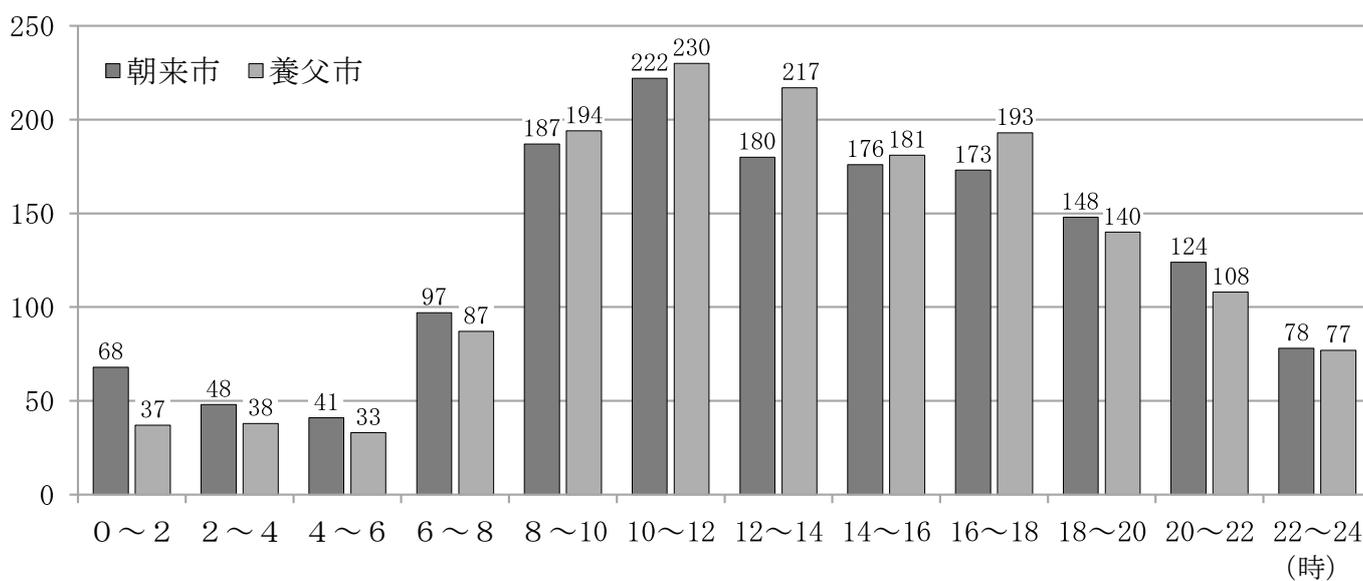


(管外を除く)

時間別救急発生状況

種別		時間別	総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数			3,078	105	86	74	184	381	452	398	357	366	288	232	155
朝来市	小計		1,542	68	48	41	97	187	222	180	176	173	148	124	78
	交通事故		86	2	2	1	7	13	14	9	17	8	10	2	1
	一般負傷		246	8	8	9	10	31	32	26	36	30	29	17	10
	急病		1,007	56	38	30	76	120	124	105	95	104	96	99	64
	転院搬送		122					10	33	27	14	24	8	5	1
	その他		81	2		1	4	13	19	13	14	7	5	1	2
養父市	小計		1,535	37	38	33	87	194	230	217	181	193	140	108	77
	交通事故		64	2		1	4	2	7	16	12	7	8	3	2
	一般負傷		287	2	6	5	14	51	39	37	37	40	25	25	6
	急病		922	31	30	26	67	111	122	103	100	102	98	70	62
	転院搬送		145	2	2	1	1	7	33	34	16	27	8	8	6
	その他		117				1	23	29	27	16	17	1	2	1
管外	小計		1							1					

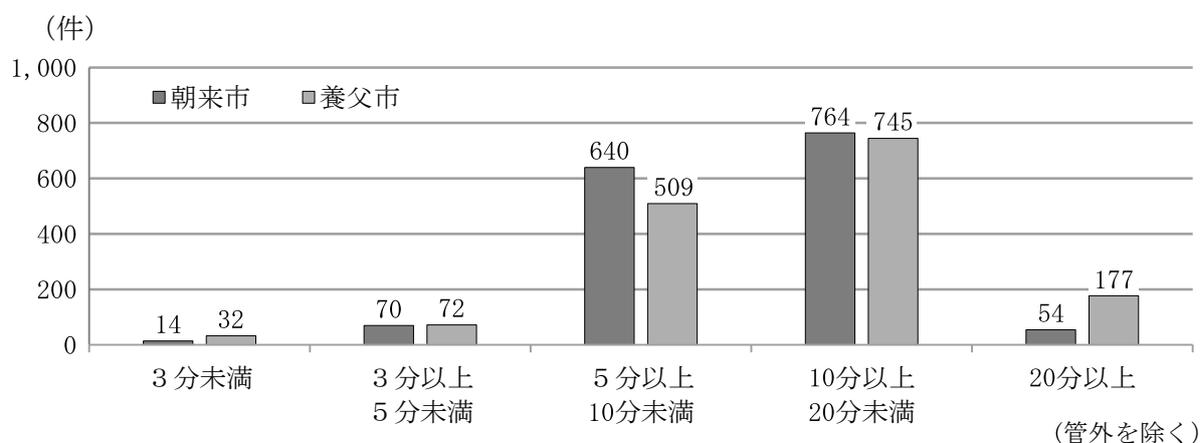
(件)



(管外を除く)

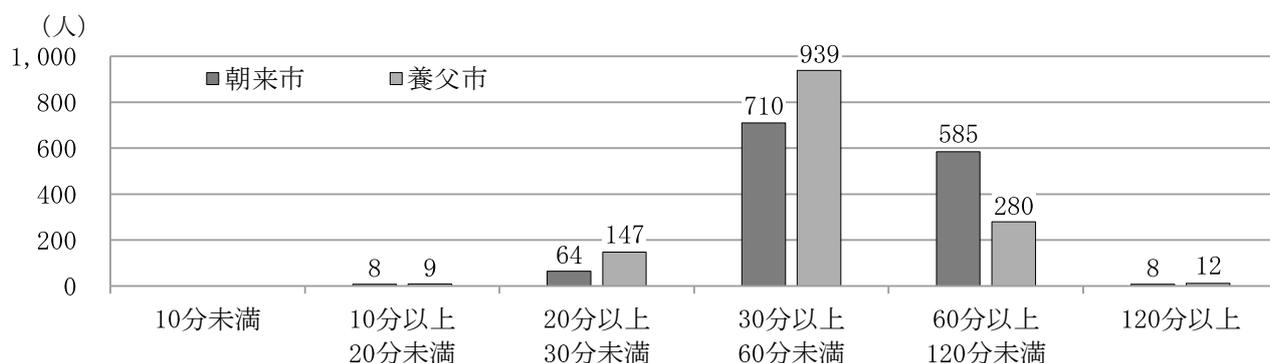
覚知から現場到着までの所要時間状況

発生場所別 \ 時間	総数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要 時間(分)
総数	3,078	46	142	1,150	1,509	231	10.1
朝来市	1,542	14	70	640	764	54	10.3
養父市	1,535	32	72	509	745	177	12.0
管外	1			1			8.0



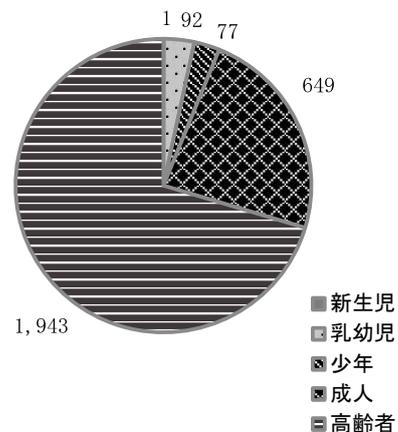
覚知から医療機関収容までの所要時間状況

発生場所別 \ 時間	総数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総数	2,762		17	211	1,649	865	20	53.2
朝来市	1,375		8	64	710	585	8	57.1
養父市	1,387		9	147	939	280	12	49.3
管外								



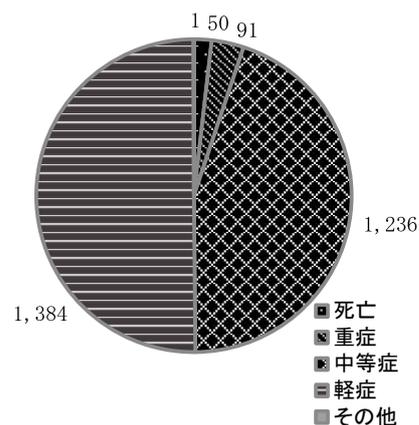
年齢区分別搬送人員

種別 \ 区分	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
総数	2,762	1	92	77	649	1,943
交通事故	126		1	5	73	47
一般負傷	510		16	24	105	365
急病	1,808		75	41	379	1,313
転院搬送	266	1		3	52	210
その他	52			4	40	8



傷病程度別搬送人員

種別 \ 区分	総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数	2,762	50	91	1,236	1,384	1
交通事故	126		2	36	88	
一般負傷	510	6	19	201	284	
急病	1,808	39	51	766	951	1
転院搬送	266	1	14	207	44	
その他	52	4	5	26	17	



※ 死亡・・・初診時、死亡と診断されたもの
 重症・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症・・・入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症・・・入院加療を必要としないもの
 その他・・・医師の診断のないもの

救急隊の行った主な応急処置状況

種別 \ 処置	心電図	酸素吸入	心肺蘇生	除細動	器具による気道確保	静脈路確保		薬剤投与		血糖測定
						CPA前	CPA後	アドレナリン	ブドウ糖	
総数	2,687	782	54	2	44	59	28	26	8	74
交通事故	117	63								
一般負傷	485	75	8		8	4	3	3		2
急病	1,778	535	41	2	33	53	23	22	8	72
その他	307	109	5		3	2	2	1		

※ CPAとは、心肺機能が停止した傷病者をいう。

事故種別・収容医療機関状況

医療機関		種別	総数	比率(%)	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送	その他
総数			2,762	100	126	510	1,808	266	52
管内	小計		1,281	46.3	49	317	835	63	17
	病院	八鹿病院	983	35.6	35	223	656	58	11
		朝来医療センター	291	10.5	14	89	177	5	6
		その他の病院							
	診療所等		4	0.1		2	2		
	その他		3	0.1		3			
管外	小計		1,481	53.7	77	193	973	203	35
	病院	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)	1,358	49.2	73	175	905	170	35
		神崎総合病院	66	2.4	4	17	43	2	
		その他の病院	57	2.1		1	25	31	
	診療所等								

地域別・収容医療機関状況

医療機関		市別	総数	朝来市	比率(%)	養父市	比率(%)	管外
総数			2,762	1,375	100	1,387	100	
朝来市内医療機関	小計		292	266	19.4	26	1.9	
	朝来医療センター		291	265	19.3	26	1.9	
	その他の病院							
	診療所等		1	1	0.1			
	その他							
養父市内医療機関	小計		986	335	24.3	651	46.9	
	八鹿病院		983	335	24.3	648	46.7	
	その他の病院							
	診療所等		3			3	0.2	
	その他							
管外	小計		1,484	774	56.3	710	51.2	
	病院	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)	1,358	665	48.4	693	50.0	
		神崎総合病院	66	65	4.7	1	0.1	
		その他の病院	57	43	3.1	14	1.0	
	診療所等		3	1	0.1	2	0.1	

ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

種別 \ 月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,563	150	113	119	100	113	131	133	132	142	138	120	172
交通事故	72	7	1	8	2	4	10	9	8	8	8	2	5
一般負傷	105	7	8	7	11	5	10	18	8	5	17	3	6
急病	1,301	132	97	94	80	95	106	100	111	118	104	108	156
転院搬送	43	2	1	7	5	4	2	2	2	6	6	4	2
その他	42	2	6	3	2	5	3	4	3	5	3	3	3

※ドクターヘリは平成22年4月17日から豊岡病院を基地病院として、京都府北部、兵庫県北部、鳥取県東部地域を中心に運行が開始されています。

また、平成22年12月5日からドクターカーの運行も開始されています。

普通救命講習実施状況

区分	実施回数(回)	受講者数(人)
学校関係	2	19
事業所等	1	7
消防団		
その他	1	10
総数	4	36

※令和4年は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ上記件数となったもの。



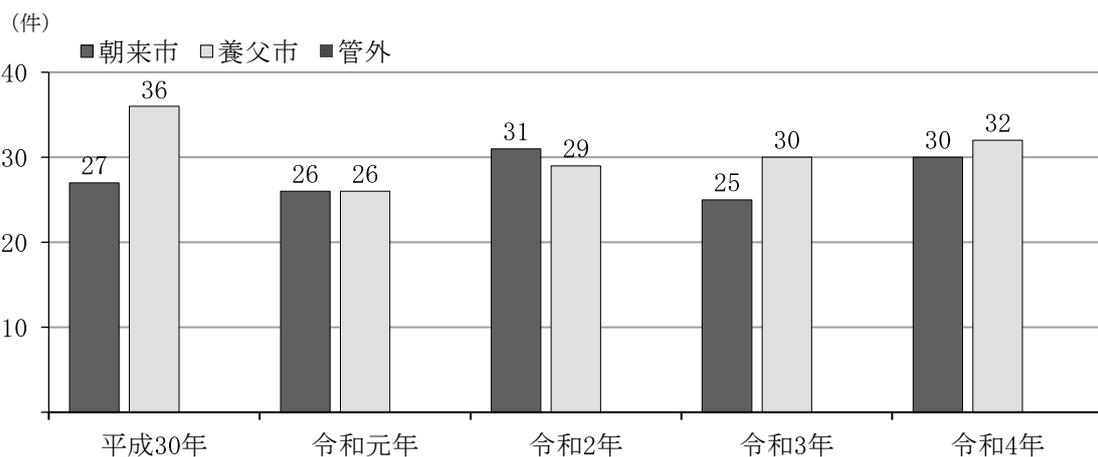
※救急訓練



※救命講習

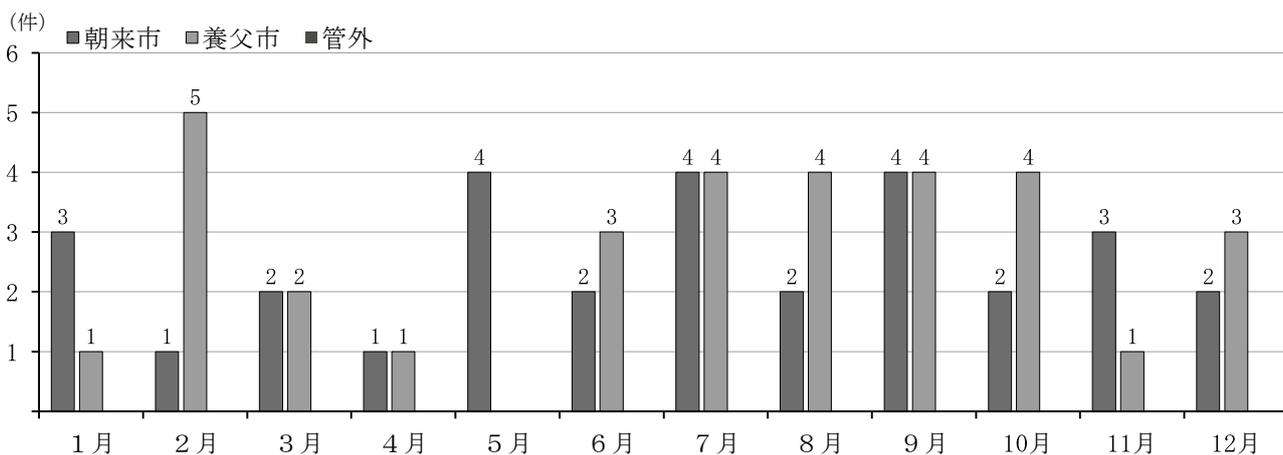
年次別救助発生状況

種 別		年 別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総 数			63	52	60	55	62
朝 来 市	小 計		27	26	31	25	30
	火 災		2				
	交 通 事 故		6	17	10	10	9
	水 難 事 故		2		2	1	
	自 然 災 害		3				
	機 械 に よ る 事 故				5		
	建 物 等 に よ る 事 故		1	1	4	4	4
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		13	8	10	10	17
養 父 市	小 計		36	26	29	30	32
	火 災				1		
	交 通 事 故		18	10	10	9	11
	水 難 事 故			2	1		1
	自 然 災 害		1				
	機 械 に よ る 事 故			1		1	
	建 物 等 に よ る 事 故		4	1	4	8	4
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		13	12	13	12	16
管 外							



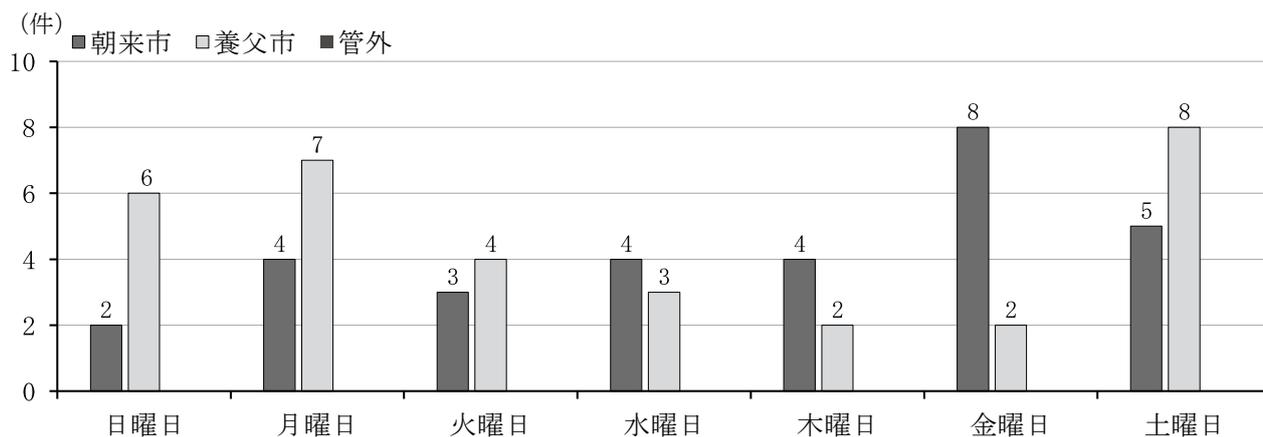
月別救助発生状況

種別	月別													
	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
総数	62	4	6	4	2	4	5	8	6	8	6	4	5	
朝来市	小計	30	3	1	2	1	4	2	4	2	4	2	3	2
	火災													
	交通事故	9	3		1			1	1		1		1	1
	水難事故													
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	4			1		1				1		1	
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	17		1		1	3	1	3	2	2	2	1	1
養父市	小計	32	1	5	2	1		3	4	4	4	4	1	3
	火災													
	交通事故	11	1	3					1	2		2		2
	水難事故	1		1										
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	4		1	1	1					1			
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	16			1			3	3	2	3	2	1	1
管外	小計													



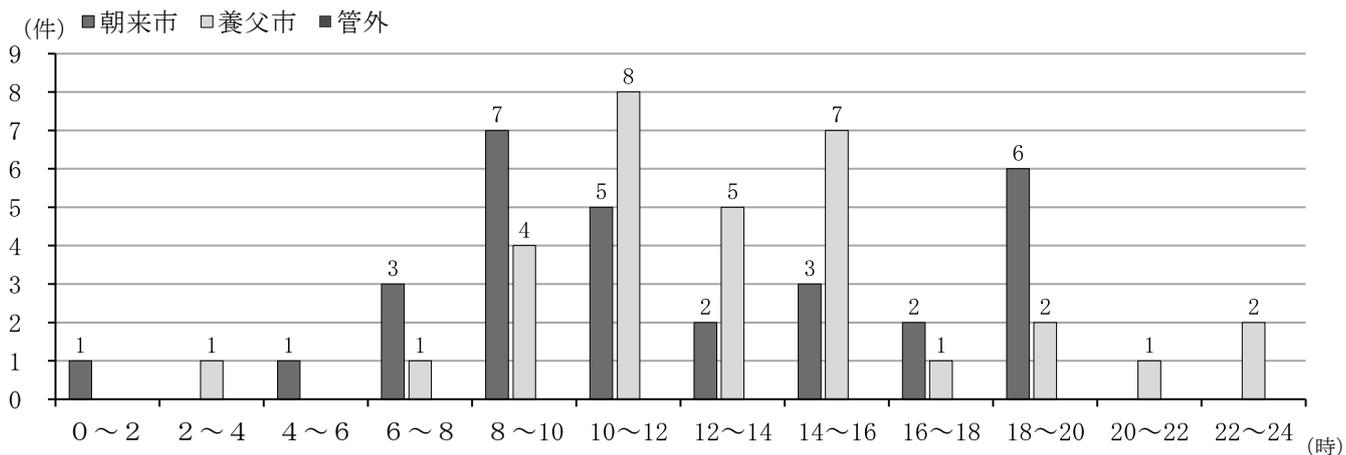
曜日別救助発生状況

種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		62	8	11	7	7	6	10	13
朝来市	小計	30	2	4	3	4	4	8	5
	火災								
	交通事故	9		2	2		2	2	1
	水難事故								
	自然災害								
	機械による事故								
	建物等による事故	4		1			2		1
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	17	2	1	1	4		6	3
養父市	小計	32	6	7	4	3	2	2	8
	火災								
	交通事故	11	1	4	2	1	1	2	
	水難事故	1							1
	自然災害								
	機械による事故								
	建物等による事故	4		1	1				2
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	16	5	2	1	2	1		5
管外	小計								



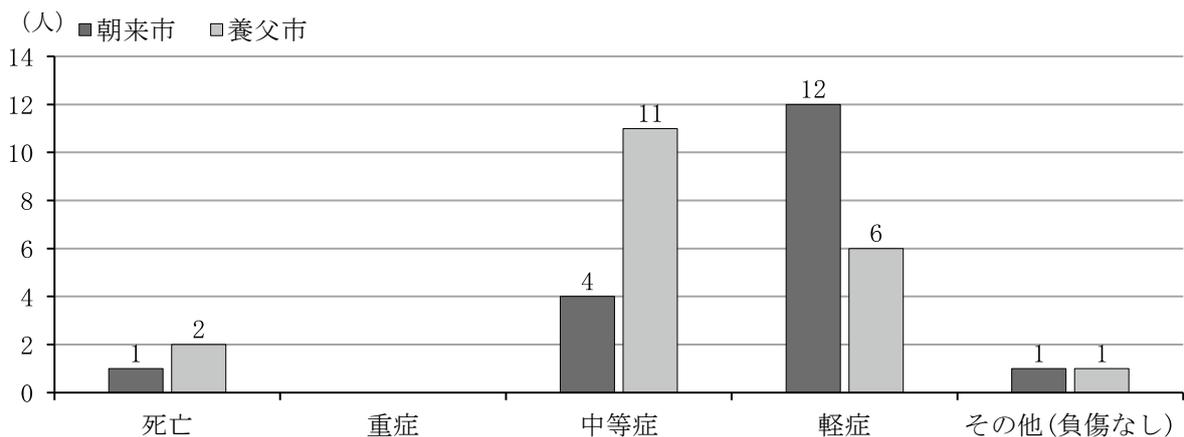
時間別救助発生状況

種別	時間別	総数	時間別											
			0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数	数	62	1	1	1	4	11	13	7	10	3	8	1	2
朝来市	小計	30	1		1	3	7	5	2	3	2	6		
	火災													
	交通事故	9	1			1	2	1		1	1	2		
	水難事故													
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	4				1		1	1				1	
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	17			1	1	5	3	1	2	1	3		
養父市	小計	32		1		1	4	8	5	7	1	2	1	2
	火災													
	交通事故	11					1	3	2	3		1		1
	水難事故	1						1						
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	4		1			1						1	1
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	16				1	2	4	3	4	1			1
管外	小計													



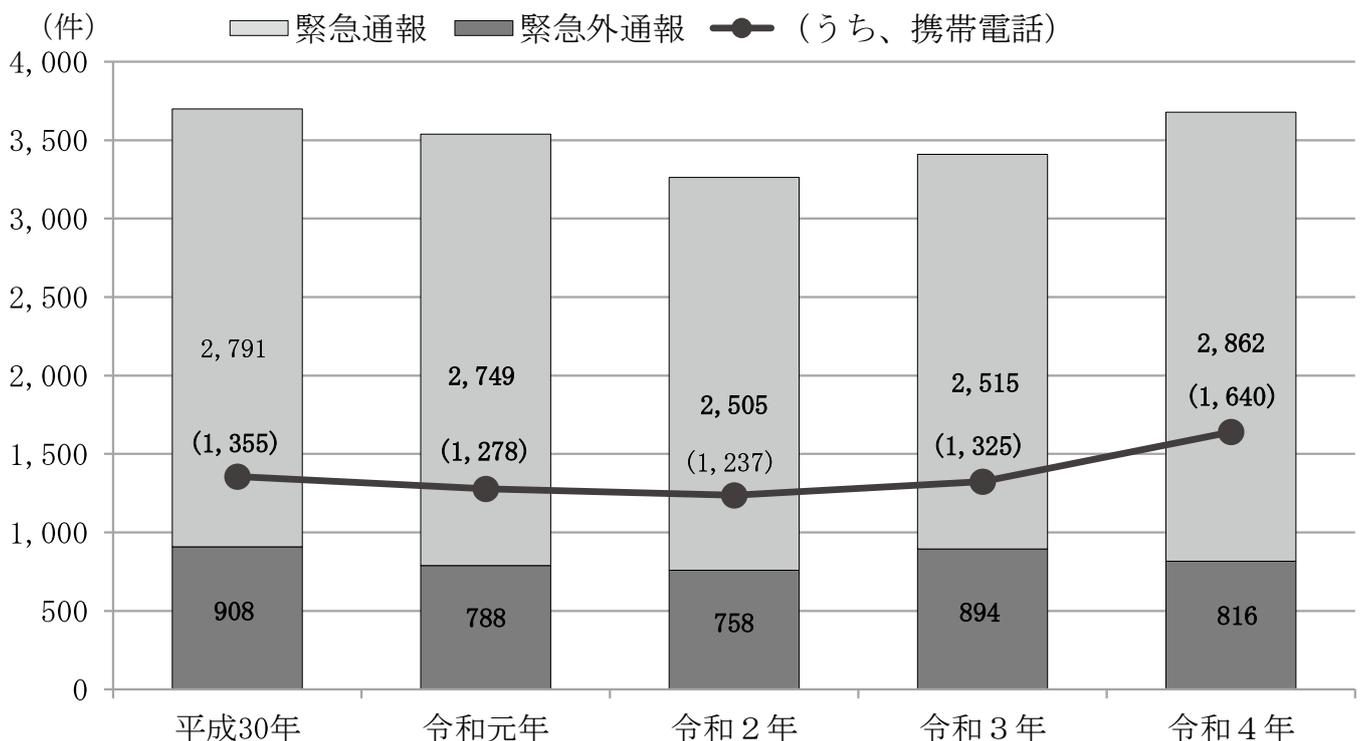
事故種別・傷病程度別状況

種 別		傷病程度	救 助 人 員					
			総 数	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
総 数			38	3		15	18	2
朝 来 市	小 計		18	1		4	12	1
	火 災							
	交 通 事 故		4				4	
	水 難 事 故							
	自 然 災 害							
	機 械 に よ る 事 故							
	建 物 等 に よ る 事 故		1					1
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故							
	破 裂 事 故							
	そ の 他		13	1		4	8	
養 父 市	小 計		20	2		11	6	1
	火 災							
	交 通 事 故		5			3	2	
	水 難 事 故		1	1				
	自 然 災 害							
	機 械 に よ る 事 故							
	建 物 等 に よ る 事 故		1					1
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故							
	破 裂 事 故							
	そ の 他		13	1		8	4	
管外	小 計							



年次別 119 番受信状況

種 別 \ 年 別		平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
総 数 (うち、携帯電話)		3,699 (1,355)	3,537 (1,278)	3,263 (1,237)	3,409 (1,325)	3,678 (1,640)
緊急通報	小 計	2,791	2,749	2,505	2,515	2,862
	火災通報	23	18	12	19	26
	救急要請	2,572	2,545	2,327	2,291	2,618
	災害の 第 2 報 等	149	155	132	150	172
	そ の 他	47	31	34	55	46
緊急外通報	小 計	908	788	758	894	816
	通報訓練	304	345	296	302	272
	間 違 い	117	88	133	115	107
	問 合 わ せ	111	62	73	107	92
	病院照会	48	48	25	22	23
	そ の 他	328	245	231	348	322



消防用機器の配置状況

(令和5年4月1日現在)

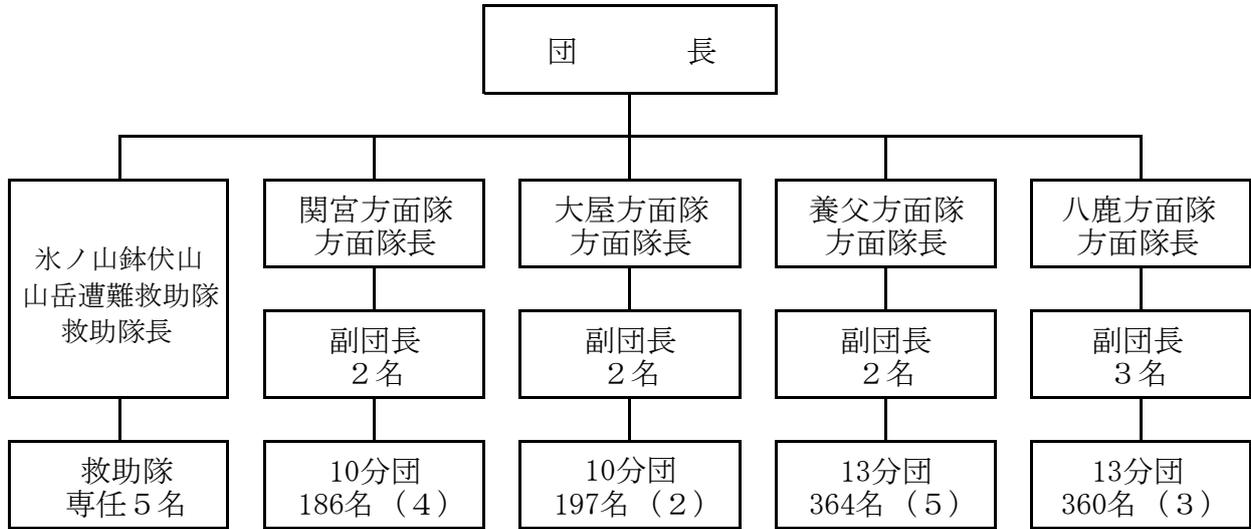
名 称		朝来署	養父署	名 称		朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設 I 型	1		救 助 資 材	耐熱服	2	2
	119番専用回線(同時受信)	8			空気呼吸器	18	14
	119番FAX受信装置	1			エンジンカッター	3	2
	消防無線陸上移動局/車載	14	11		エアーカッター	1	1
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25		エッジローラー	2	2
	フェニックス防災システム	1			チルホール	2	2
	告知放送設備	2	1		チェーンソー	4	3
	車両動態システム(AVM)	11	9		ルーカスレスキューツール	1	1
	簡易車両動態システム	4	2		マット型空気ジャッキ	1	1
	消防職団員参集メールシステム	1			救助マット(ソフトディング)	1	1
	消 防 資 機 材	ホース(65mm)	146		129	緩降機	1
ホース(50mm)		143	165	送排風機	1	1	
C級可搬式ポンプ		3		救命索発射銃	1	1	
D級可搬式ポンプ		1	1	舟型担架	2	2	
ジェットシューター		27	37	スケッドストレッチャー	3	4	
高発泡器		1	1	ガス溶断機	1	1	
組立式布水槽		3	4	エアーソー	1	1	
C A F S 薬剤		2750	5700	グラスソー	7	4	
熱画像直視装置		1	1	化学防護服(陽圧式)	4		
救 急 資 機 材	半自動除細動器	3	3	化学防護服	7	6	
	患者監視装置	3	3	防毒マスク	14	7	
	パルスオキシメーター	3	3	マンホール救助器具	1	1	
	喉頭鏡	3	3	電動鉄線カッター		1	
	ビデオ硬性喉頭鏡	3	3	ガス測定器	2	2	
	気管挿管セット	3	3	車両移動器具	2	1	
	呼吸管理器具	3	3	削岩機		1	
	自動式心マッサージ器	3	3	酸素呼吸器		2	
	陰圧式固定具	3	3	簡易画像探索器	1	1	
	スクープストレッチャー	5	4	距離測定器	1	1	
	バックボード	9	6	G P S	2	2	
	高度救急シミュレーター	2	2	ハンマードリル	2	1	
	静脈注射訓練モデル	3	3	セイバーソー	1	1	
	心肺蘇生訓練用人形	9	9	エアーテント	2	1	
A E D トレーナー	4	4	ウエットスーツ一式	5	6		
ショートボード	2	3	救命胴衣(PFD含む)	39	45		
			救命浮輪(浮環)	6	5		
			救助用ボート	1			
			船外機	1			
			ラフティングボート		1		

各種団体

消 防 団

(令和5年4月1日現在)

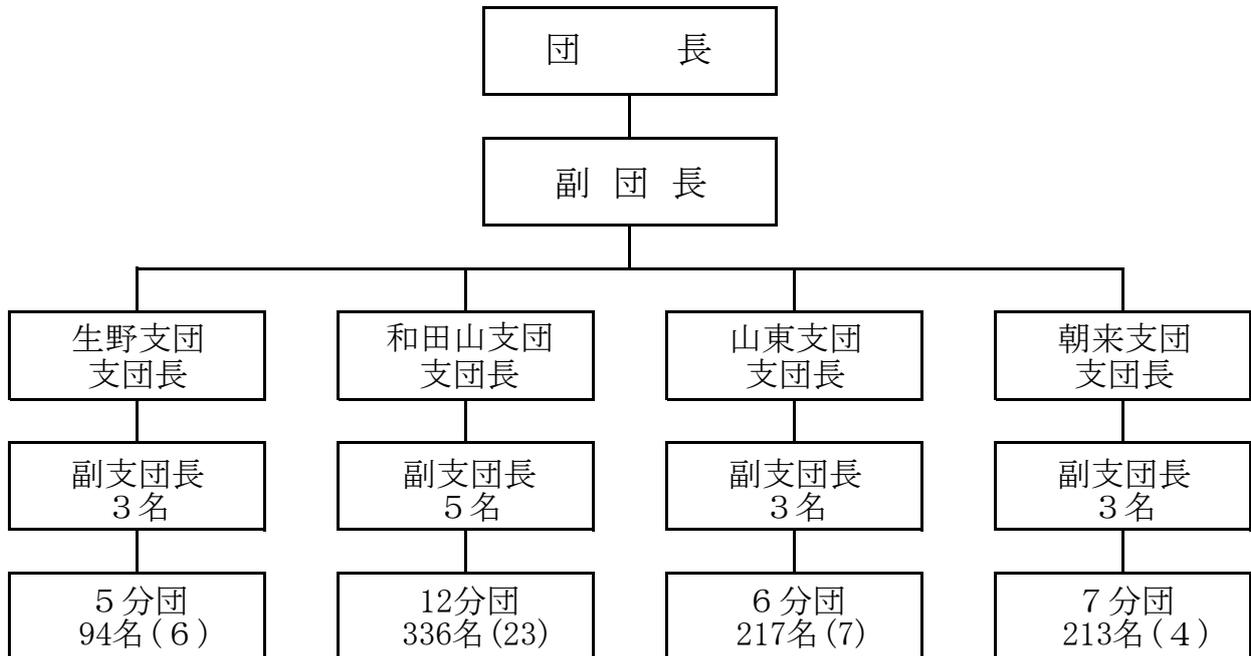
●養父市消防団組織図 (総員1,127名)



※氷ノ山鉢伏山山岳遭難救助隊は各方面隊との兼任を含む

() 内は女性団員

●朝来市消防団組織図 (総員880名)



() 内は女性団員

●令和4年度消防団との合同訓練

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため合同訓練実施が難しい状況でした。

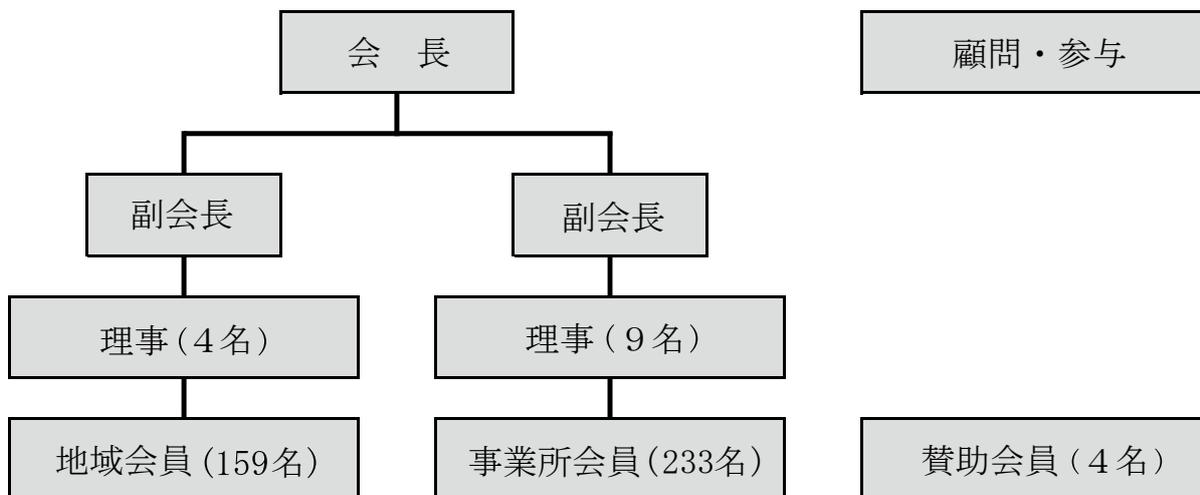
令和4年度消防団との合同訓練内容

養父市	3月19日	春の火災予防運動に伴う大屋方面隊との合同訓練	大屋町筏
朝来市	合同訓練は、中止又は消防団のみで実施。		

朝来市自主防災推進協議会の現況

協会組織図

(令和5年4月1日現在)



養父市幼少年婦人防火委員会の現況

防火委員会組織図

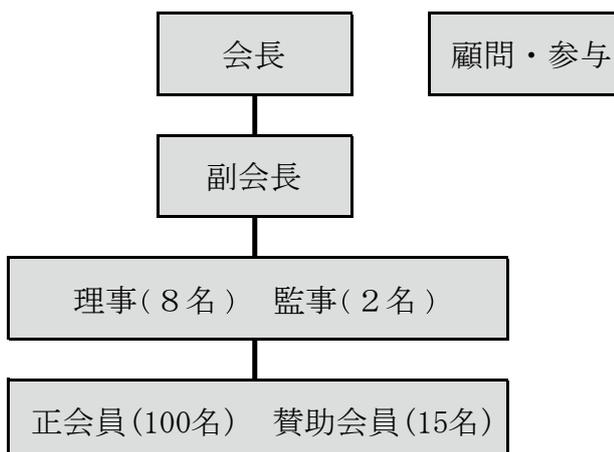
(令和5年4月1日現在)



南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(令和5年4月1日現在)





魚ヶ滝（朝来市）
写真提供：朝来市



名草神社 三重塔（養父市）
写真提供：やぶ市観光協会

養父市・朝来市の安全をめざして

(住宅用火災警報器を設置しましょう)

消防年報 第11号

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

TEL (079) 672-0119

FAX (079) 672-5046

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>



「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。